零の軌跡

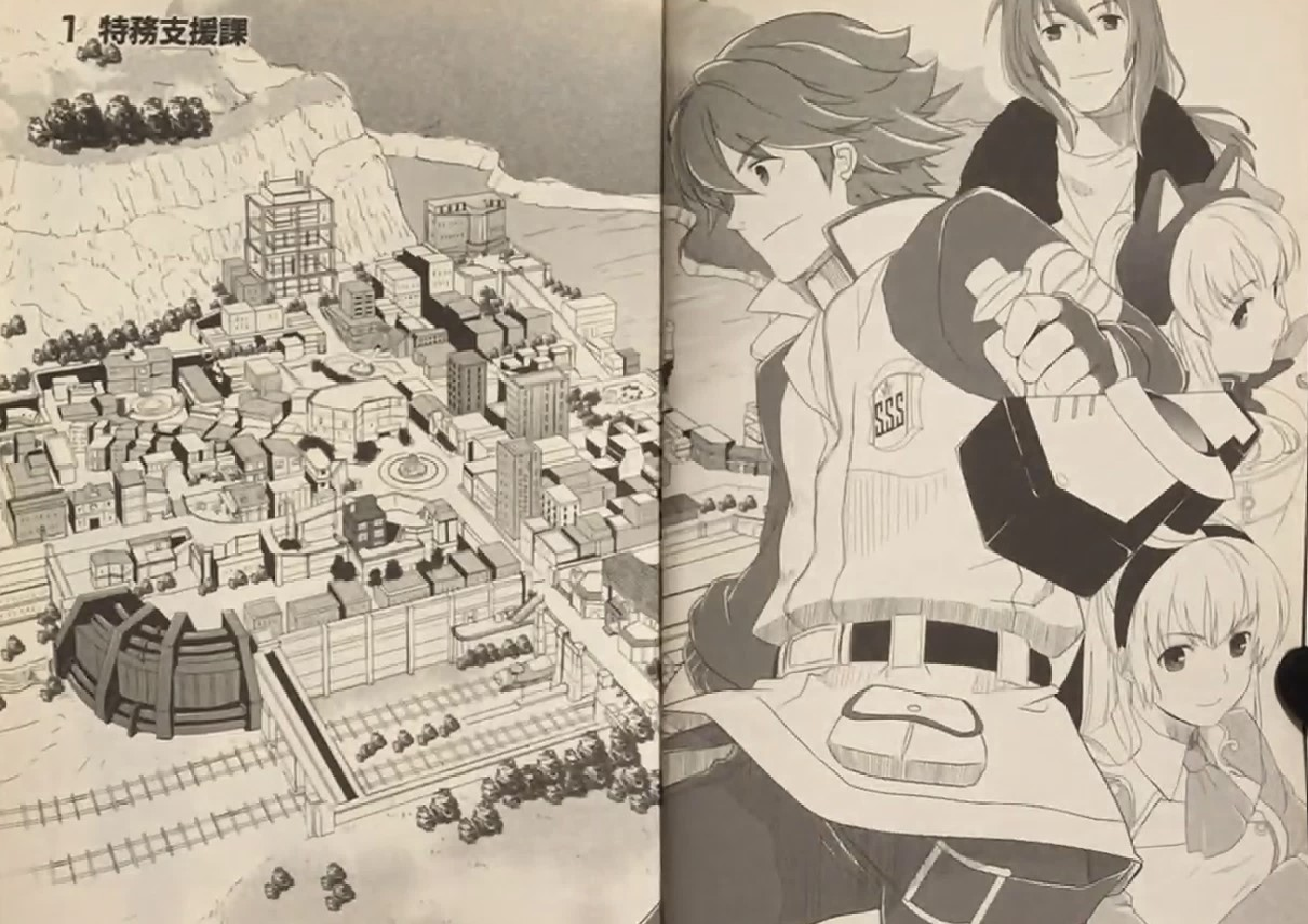
C.P.D

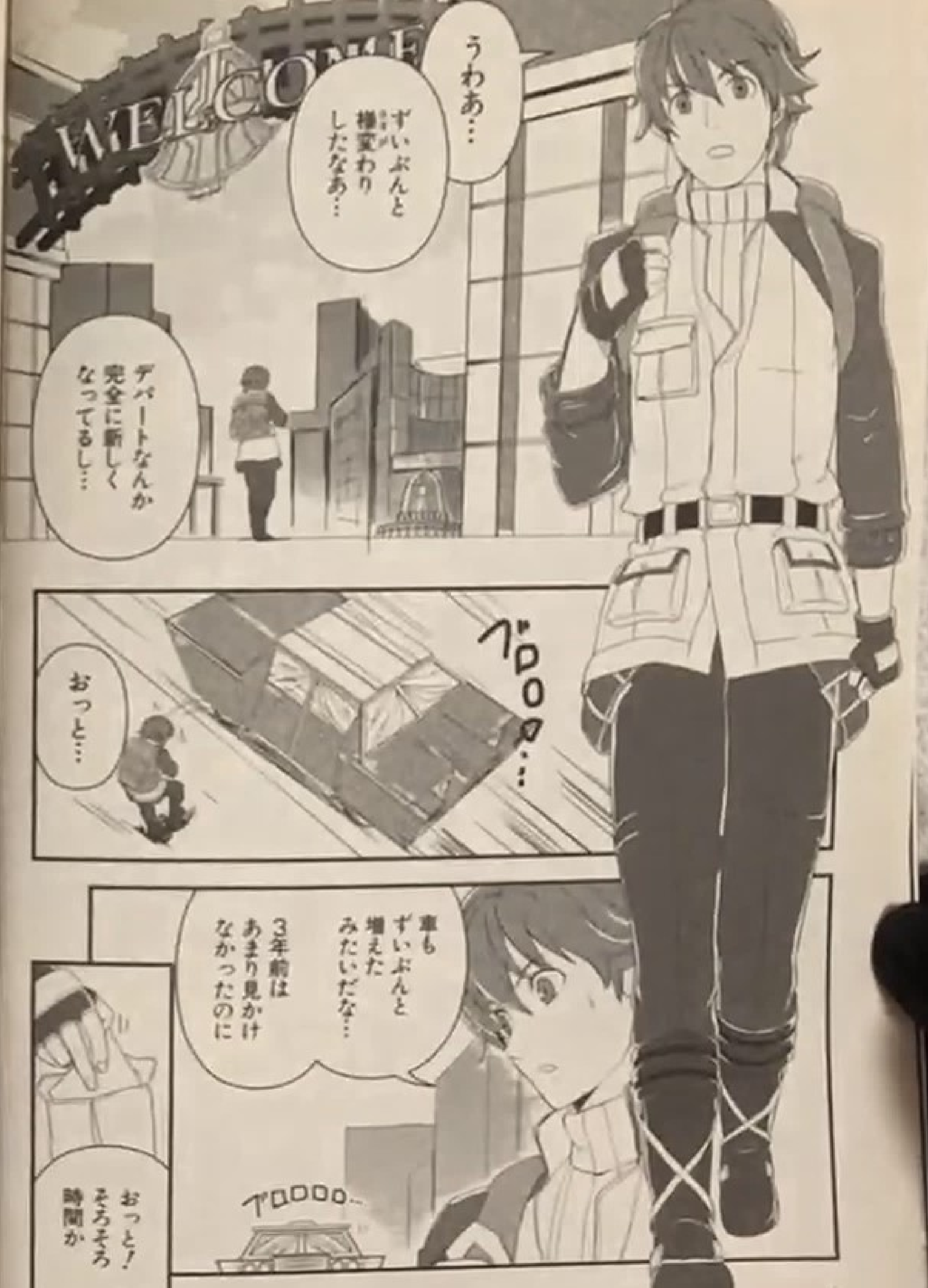
1

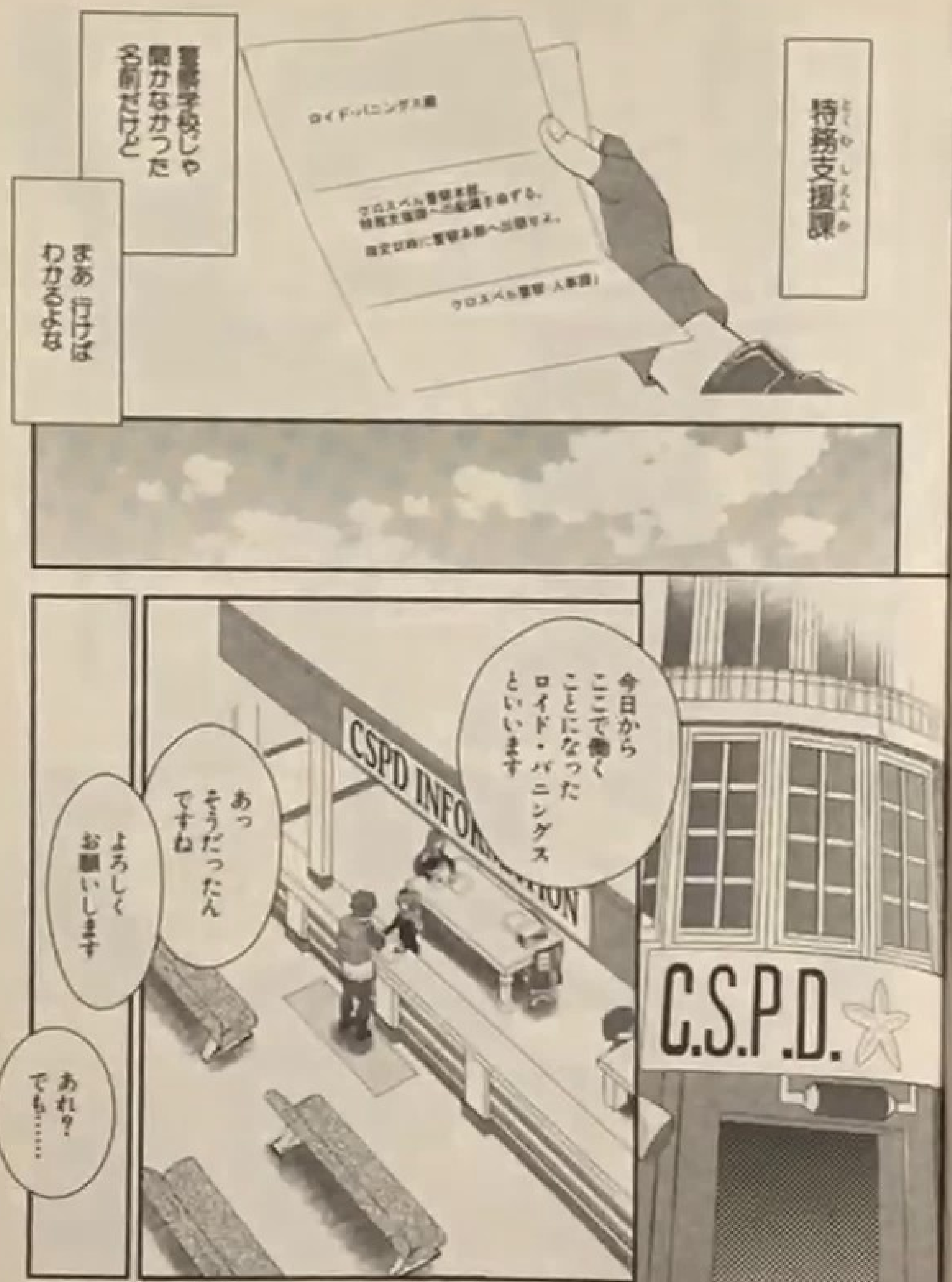
鳥草あろう

1_特務支援課 003
2_それぞれの決意 031
3_初任務 061
4_旧市街の不良たち 081
5_鬼砕き 103
6_新たな容疑者 125
7_反撃 147
8_決戦 169

1 特務支援課




うわあ…
ずいぶんと様変わりしたなあ…
デパートなんか完全に新しくなってるし…
ブロロロ…
おっと…
車もずいぶんと増えたみたいだな…
3年前はあまり見かけなかったのに
ブロロロロ…
おっと!そろそろ時間か


特務支援課
ロイド・バニングス殿
警察学校じゃ聞かなかった名前だけど
まあ 行けばわかるよな
C.S.P.D.
CSPD INFORMATION
今日からここで働くことになったロイド・バニングスといいます
あっ そうだったんですね
よろしくお願いします
あれ? でも……

今日 新人の方が来るっていう連絡は受けてないんですけど
警備隊の方ではないですよね？
いえ 警察本部で間違いないと思います
一応 捜査官の資格をもらいましたし…
えーっ!!
捜査官試験に合格されているんですか？
凄いですね－！
いや～～ 運がよかっただけですよ
それで どちらの部署に配置される予定なんですか？
はぁ それが…
特務支援課という部署らしいんですけど……
特務支援課？
あれれ？ そんな部署ありましたっけ？
おー 来やがったか
セルゲイ警部！
くいっ
警部が立ち上げた部署の名前だったんですね
ウチの新人なんでな
そいつは俺が引き取ろう
ああ よろしく頼む
ちらっ…
じ…
ぴく
にやっ
特務支援課 課長 セルゲイ・ロウだ
おまえがロイドか
はっ はいっ！
クロスベル警察 特務支援課への着任を報告させて…
あー 着任報告はまだいい
？

ハッハッハッ
ついて来い
ほかの連中を紹介しよう
え…?え…
あはは…
が…がんばってください〜〜?
パラ…
ニヤニヤ…
カタカタ…

あの…
まあ いろいろあってな
もっとも半年もたたないうちになくなっているかもしれんがな
ん?
特務支援課とはいったいどんな場所なんでしょうか?
は…はあ…
はげしく不安だ…
ガチャ
着いたぞここだ
ギイイ…
待たせたな
最後のメンバーを連れてきたぞ

ほれ
自己紹介
あ
はいっ!!
すっ…
ロイド・
バニングスです
ここクロスベル
出身です
しばらく外国で
暮らしていましたが
警察に入るにあたり
戻ってくることに
なりました
よろしく
お願いします
おーおー
まじめだねぇ
よっ
俺の名は
ランディ
ランディ・
オルランドだ
趣味はナンパ
ギャンブル
グラビア雑誌の
鑑賞!
エリィ・
マクダエルです
ロイドさんと同じ
クロスベル
出身です
あとで俺の
秘蔵コレクションを
貸してやるよ
ええっ!?
コホン…
よろしくお願い
します
ティオ・
プラトー……
レマン自治州
から来ました
よろしく…
あの…
セルゲイ課長?
よ…
よろしく
なんだ?

警察1年生.
その…自分をふくめてかなり若いメンバーですね
おまえたち全員期待の新人だからなー
そりゃそうだ
それじゃ出かけるぞ準備しろ
?
さっそくだがおまえたちの総合能力および実戦テストをはじめる
この特務支援課がどんな仕事をするのか――
これから素敵な場所でじっくり体験させてやろう
ここから先はクロスベル市の地下に広がるジオフロント区画だ
おまえたちにはこの内部に潜んでいる魔獣を退治してもらう
EXIT
待ってください魔獣退治って…捜査官の仕事じゃないですよね
ククク たしかにな
だが――特務支援課に所属する者は話が別だ
?
詳しい話はあとだ それより…
ロイド とりあえずおまえリーダーな
えええっ!!?
今のところ捜査官としての資格を持っているのはおまえだけなんだ
それじゃまかせたぞ
ずーん
ハッハッハッ 押しつけられちまったなあ?

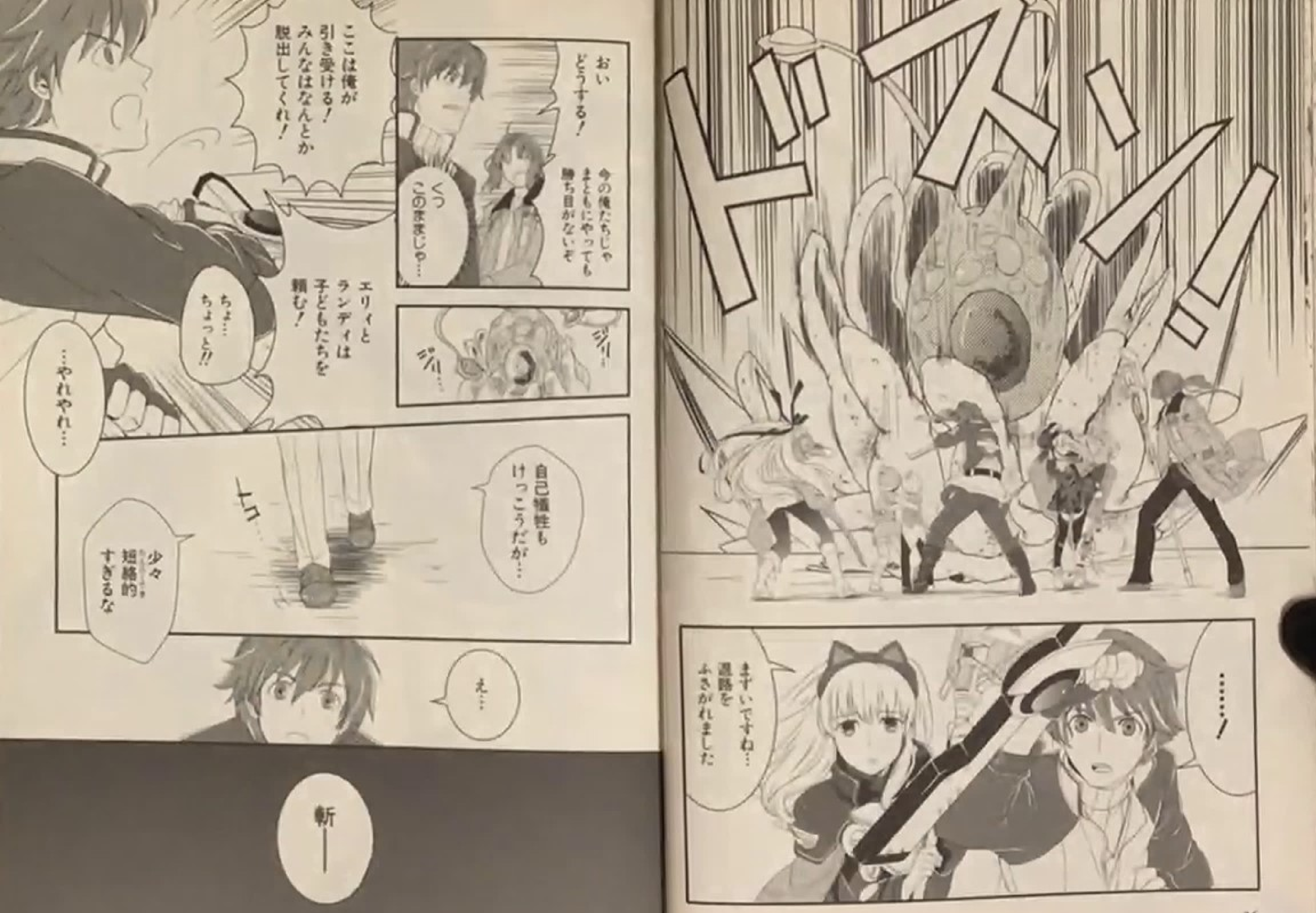
はぁ～ たまげたな
こんな場所が 都市の地下に 広がっていた なんて…
データベースによると 20年前の都市計画と 同時に建造が開始 されたようです
上下水道 ごみ施設に 加え 導力ケーブルや 各種プラント等も あとから増設された みたいですね
普段は封鎖 されているため 魔獣が外に出る ことはありま せんが…
たまに作業員の 方々が襲われて ケガをすることが あるようです
ですが現在 警察のほうでは 対処しきれない みたいですね
なるほど…
となると 特務支援課と いうのは…
!!
危ない!!
魔獣…!?
タタタタ…
追いかけるぞ!!
待てっ!!
くそっ 意外と 足が速いな
おい 大丈夫か?
な… なんとか…
ん?

ダダダダダダ
もう1体いる!
よし
2体とも
追いつめるぞ!
子ども…!?
ガクガク
ガクガク
!!
おいおい…
ジオフロント
内部は
封鎖されて
いるんじゃ
なかったのか?
わたしに
言われましても
……
ジリ…
うわあああん!!
助けて
女神さまあああ!!
どうする?
このまま
突っ込むか?
いや…
まずは
子どもたちを
安全なところへ
逃がすのが
先決だと思う
それなら
私に
まかせて
コツ…
スッ…
パン!
パン!
ガッ
ゴッ
ガッ
おおー
お見事
です…
子どもたちから
離れなさい!
スオッ

私たちが相手よ！
敵は2体…
ランディと俺が前に出よう
エリィとティオは援護を頼む
──わかった
ダッ
行くぞ!!!
それじゃ俺から行かせてもらうぜ
お手並拝見といきますか
よっ！
ドドドドド…
ガガガッ
ふりゃっ!!
ちっ生きてやがる手え抜きすぎたか
ダッ
もう一撃！
！
…1体殲滅です

ゴロゴロ
くそっ
あれでは
攻撃が
できない!!
なんとかして
耳のガードを
外さないと…
ぐるっ
ゴンッ
ぱかっ
やった!
耳が
開いた!
今よ!
お願い
よしっ!
ダッ
ザッ

ふう…
どこにもケガはない?
うしてんな場所に?がかかっていたずだけどこからってきたの?
えっとその…
ボクたち中央広場の鐘のある場所で遊んでて……
そこにあったフタを開けたらハシゴがあるのを見つけて……
それで…
なるほど冒険心をくすぐられちまったわけか
……
それにしてもお兄ちゃんたち強かったなあ!
見かけない顔だけどギルドの新人?
ギルド?
ギルドって言ったら遊撃士協会しかないじゃん!!
い…いや俺たちは…
クロスベル警察に入ったばかりの新人だけど…?
え…
ケーサツ!!?
どうしてケーサツのお巡りがこんなところに
あ…ああちょっと事情があってさ…
そんなに変かな…
だってよう!
ケーサツのお巡りって言ったら腰抜けで有名じゃないか!!
態度もオーヘイなわりには何もしてくれないって父ちゃん言ってたぞ!!
おい…まずいぞ!!
リリュウ~!!
C.S.P.D.
!!

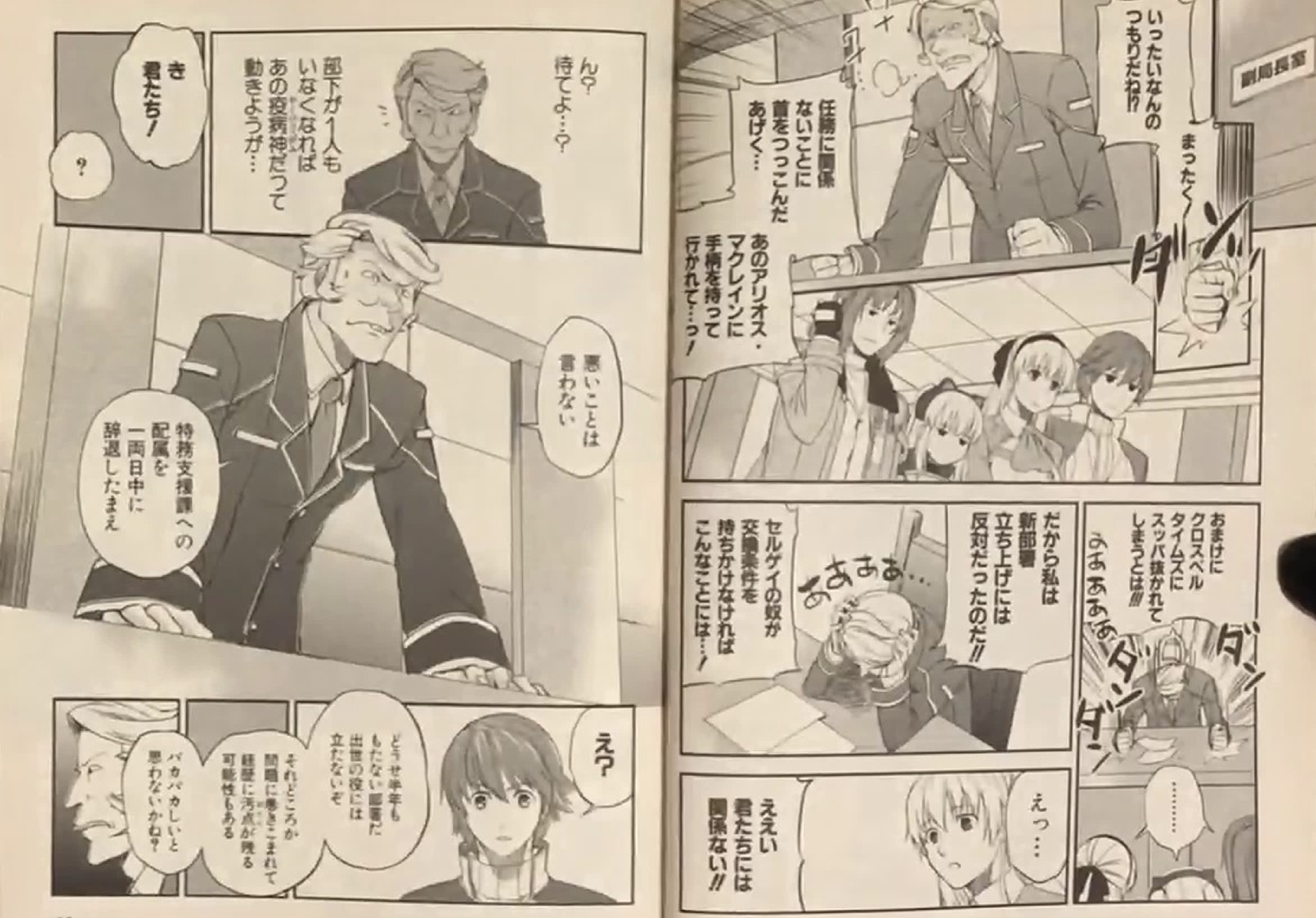

……！
まずいですね…
退路を
ふさがれました
おい
どうする！
今の俺たちじゃ
まともにやっても
勝ち目がないぞ
くっ
このままじゃ…
ジリ…
ジリ…
ここは俺が
引き受ける！
みんなはなんとか
脱出してくれ！
エリィと
ランディは
子どもたちを
頼む！
ちょ…
ちょっと!!
…やれやれ…
自己犠牲も
けっこうだが…
少々
短絡的
すぎるな
え…
斬ーー

タンッ

パキン
ドサッ…
すっげー!!
アリオスさん!!
でも どうして—
広場のマンホールに 子どもが入っていった という 報せがあってな
す… すごい!!
あの 大型魔獣を 一撃で……
しかし 無茶なことを する
もしものことが あったら どうする つもりだ!
ご… ごめんなさい
フ… 無事なら それでいい
先ほどの ようなことが あるかも しれないからな
とっとと 地上に出るぞ
2 それぞれの決意

パシャ
パシャ
じゃーアリオスさん！
今回もお手柄でしたねっ!!
マ…マスコミ？
クロスベルタイムズの記者みたいね…
あら
貴方たちが噂の特務支援課ねっ
パシャ
せっかくの初任務だったのにイイとこアリオスさんに持っていかれて残念だったわね～
ズカ
ズカ
まあ記事でいろいろ書いちゃうと思うけど
お姉さんからのエールだと思ってがんばってね――♪
な…なんだあ？

それよりもあのオッサンだ
いったい何者なんだよ？
まとってるオーラが尋常じゃないというか…
アリオス…
？
クロスベルタイムズで読んだことがある
遊撃士協会クロスベル支部に所属する最強のA級遊撃士――
どんな依頼も完璧にこなし
市民から絶大な信頼を得ているクロスベルの真の守護神――
《風の剣聖》アリオス・マクレインだ
P.D.
ただいま戻りました
あっロイドさん
バタ
ん？

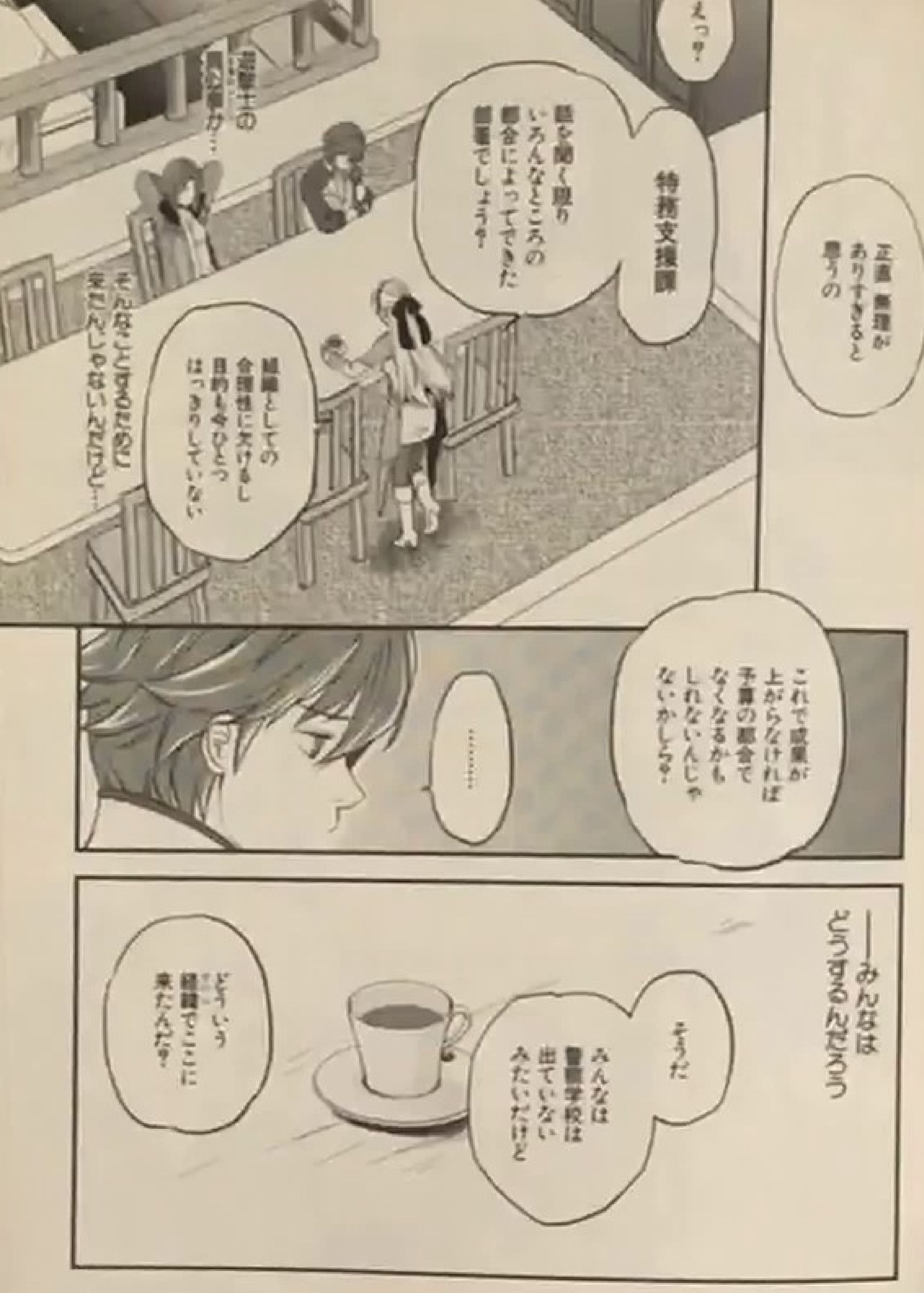

副局長室
いったいなんのつもりだね!?
まったく!
任務に関係ないことに首をつっこんだあげく…
あのアリオス・マクレインに手柄を持って行かれて…っ!
ダン
おまけにクロスベルタイムズにスッパ抜かれてしまうとは!!!
ああああ
ダンダンダン
だから私は新部署立ち上げには反対だったのだ!!
ああああ…
セルゲイの奴が交換条件を持ちかけなければこんなことには…!
……
えっ…
ええい君たちには関係ない!!
ん?待てよ…?
部下が1人もいなくなればあの疫病神だって動きようが…
き君たち!
?
悪いことは言わない
特務支援課への配属を一両日中に辞退したまえ
え?
どうせ半年ももたない部署だ出世の役には立たないぞ
それどころか問題に巻きこまれて経歴に汚点が残る可能性もある
バカバカしいと思わないかね?

やれやれ…何か妙なことになったなぁ
チ～♪
どうやら警察本部でもいろいろあるみたいね…
ん？
ロイド！
どうしたんだ配属辞退しろってのがショックだったか？
あ…
あいや…思っていた場所とずいぶん違っていたからさ…
ところでセルゲイ課長はどちらに…？
課長本人から詳細を聞いてみないと…
お～キツネの小言と嫌味は終わったみたいだな

よっ
どこ行ってたんですか!?
セルゲイ課長!!
ああ おまえたちの荷物が届いたから引っ越し屋に立ち会ってたんだ
あ…
とっとと行くぞ
この特務支援課がどういった部署なのか…
おまえたちの疑問のすべてにちゃんと答えてやるからよ

市民の安全を第一に考え…
様々な要因に応じる部署？
そうだ
それが特務支援課の行動方針だ
知ってるかもしれんが
現在このクロスベルにおいて遊撃士協会の評判はたいしたものだ
トンッ…
えっでもそれは…
ありていに言うと遊撃士協会のパクリですね
……
あのアリオス・マクレインに加え――
かなりの実力者がクロスベル支部に所属している
それが警察のお偉方にとって何を意味するかわかるか？
…警察とギルドの比較評価と組織としての問題点の指摘…
そのとおりだ
警察の基本理念は治安維持と自治州法の遵守…
ピッ
市民へのサービスは本来二の次であるわけだ
だから警察内部で快く思わない声も多くてな…
「便利屋」だの「ニセ遊撃士」だの「猿回しのサル」だの…
まあ早くも散々な陰口をたたかれてるってわけだ
そんな職場で俺たちは働くのか？
まあそう急くな

聞いてるかもしれんが 配属を 辞退する ことは可能だ
!
正式に配属された 場合 やってもらう ことは様々だ
今日みたいな 魔獣退治の仕事や 落し物探し 本部の手伝いなど 細かい雑用——
その気がない 人間に務まるとは 思えんからな
ひと晩 考える 時間をやろう
配属を辞退した 場合 他の部署に 配属されることに なるが 今なら デメリットはない
すべては おまえたち次第と いうわけだ
……


えっ!?
特務支援課
話を聞く限り いろんなところの 都合によってできた 部署でしょう!?
遊撃士の 真似事か…
正直 無理が ありすぎると 思うの
組織としての 合理性に欠けるし 目的も今ひとつ はっきりしていない
そんなことするために 来たんじゃないんだけど…
これで成果が 上がらなければ 予算の都合で なくなるかも しれないんじゃ ないかしら?
……
——みんなは どうするんだろう
そうだ みんなは 警察学校は 出ていない みたいだけど
どういう 経緯でここに 来たんだ!?

………
聞きたいか?
え……あ……
差し支えなかったらでいいけど…
い…
前の職場って?
いやー
前の職場で何人もに手を出したのがバレてさ
あやうくクビになりかけたところをオッサンに拾ってもらったんだよ
ああ クロスベル警備隊さ
帝国方面にあるベルガード門に詰めてたんだ
……

ま
デスクワークは少なそうだし 職場と住まいが一緒なのはラクだし
よっと
俺はここで厄介になるつもりだぜ
ふふっ…
私がここに来た理由は…
カチャ…
ありていに言えば社会勉強ね
私もここでがんばることに決めたわ
……
たぶん私はずっと警察に勤め続けることはないと思うの
だから出世コースから外れてもあまり関係がないから

カチャ…
それに…
歪み•を観察するにはわりとよさそうな場所だと思うし…
歪み•？
ふふ…ここから先は正式に同僚になってからのほうがよさそうね
さっきからティオは何をやっているんだ？
カタ
カタ…
…見てのとおり端末のチェックです
カタカタカタ…
そういえばティオはレマン自治州出身だって言ってたな…
歳もまだ若そうだし
どうしてクロスベル警察に？
カタ…
…正確には私は警察官ではありません
エプスタイン財団から出向したテスト要員ですので
テスト要員？
はい 長期使用した魔導杖
あの杖の実戦テストのためわたしは財団から出向してきました
で でも出向って…
ま まさか財団にムリヤリ働かされているんじゃ…!!
オロオロ
お…落ち着いてください！
今回の件は私がわがままを言わせてもらった結果ですので
へっ？

わたしは わたしで ここにいる 理由がある…
つまりは そういうことです
端末のチェックは ひと通り終わり ました
俺も部屋で 一杯飲んでから 寝るかね
カタ…
ガタッ
それじゃ 私も… みなさん おやすみなさい
ああ… おやすみ…

パタン
ふう…
みんなは…
ちゃんと自分の やるべきことを 考えている みたいだな…
少し外に 出てみるか…

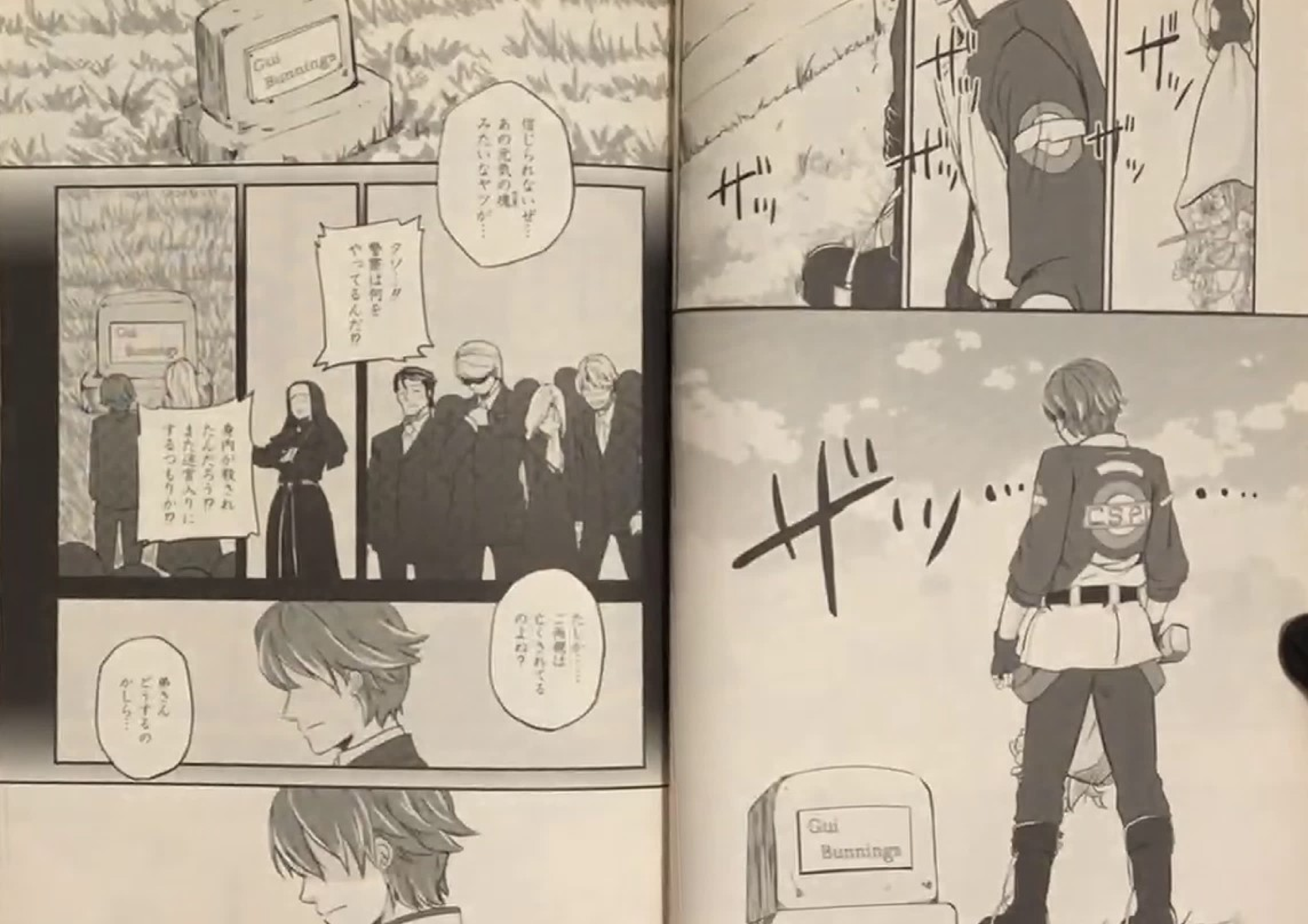
トコ…
ふぅ…
いい風が吹いてるな
3年か…
おーい!
あの ここが特務支援課ってとこでいいんですよね?
君たちは…
そうだけど どうして ここに?
あの…
だから その……
あ… ありがとう な……

ははっ…
単純だなあ
お礼ひとつでこんなに気分が晴れるなんて…
家まで送るよ
そんなに悪くもないかな…
さて…
返事を聞かせてもらおうか…
俺はこのまま厄介になります
ていうか俺を警察本部に引っぱってきたのはアンタでしょーが!
私もこのままこちらでお世話になります
セルゲイ課長よろしくお願いします!
言うまでもないと思いますが…
はじめからそのつもりでしたし…
おまえたち3人に関しては問題なさそうだな

となると――
残るはおまえだけだな
――ロイド・バニングス
半年間の警察学校のカリキュラムを座学・訓練ともに優秀な成績で終了
そのまま捜査官試験に挑戦しみごと合格――
おまえならどの課に行ってもやっていけるだろう
事実 引き取りたいという課もいくつか来ている
正直 ウチには不釣り合いなくらい真っ当すぎる人材だ
迷う余地はないんじゃねーか？
……
――いえ
いろいろ考えて決めました
セルゲイ課長よろしくお願いします！
ニヤ…

今日のところは
休暇にしてやる
明日から
地獄のように
忙しくなるから
しっかり休んで
おけよ
ロイド・
バニングス
はいっ!
エリィ・
マクダエル
おっと
ティオ・
プラトー
ペコリ
その前に
やることが
あったな…
ランディ・
オルランド
もう1回
そこに
ならべ

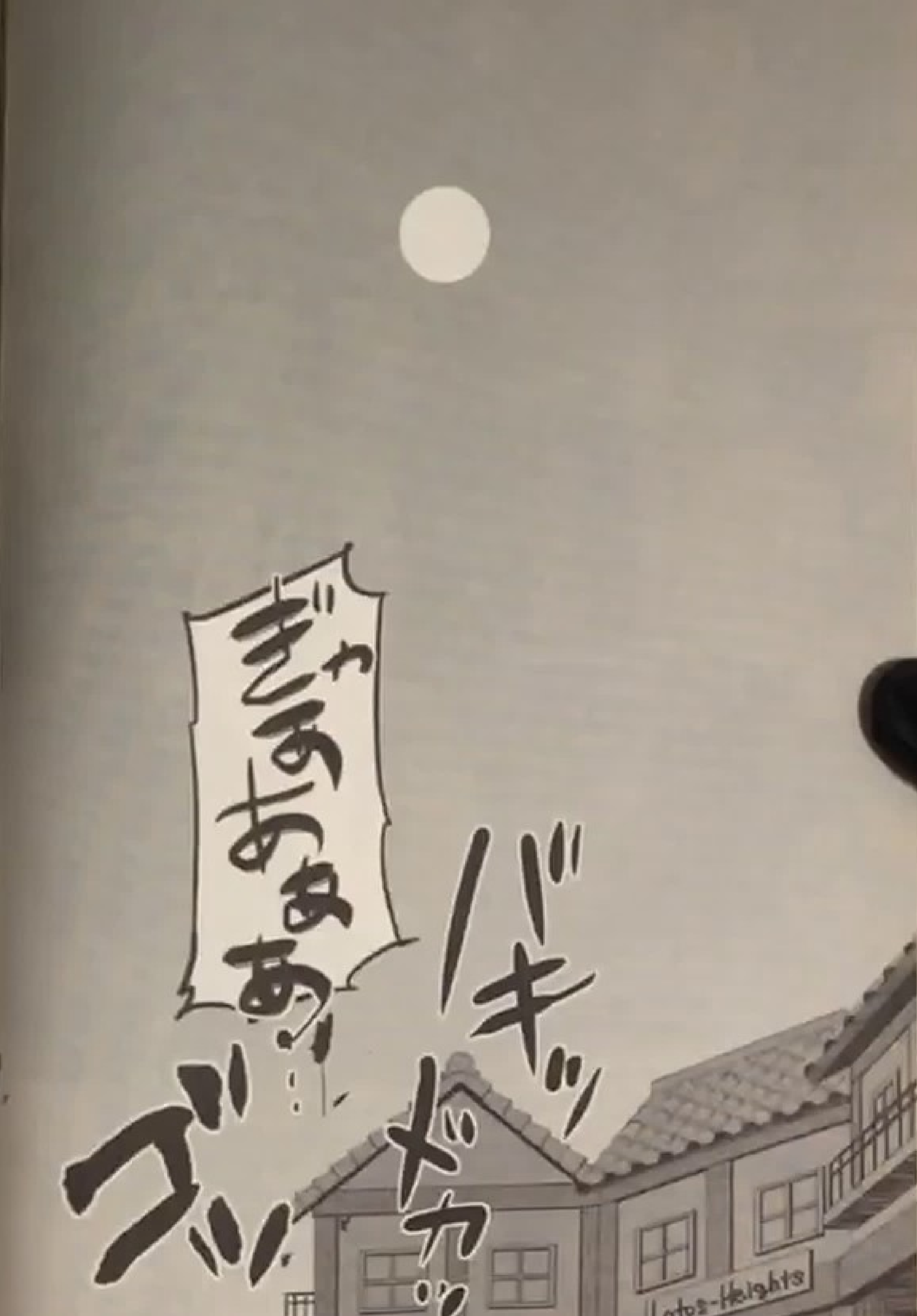
以上 4名
特務支援課への
配属を承認した
バラエティ豊かな
仕事を山ほど
回してやるから
覚悟してるといい——


ザッ
ザッ
ザッ
ザッ
ザッ
ザッ……
Gui Bunnings
Gui Bunnings
信じられないぜ…あの元気の塊みたいなヤツが…
クソーッ 警察は何をやってるんだ!!
身内が殺されたんだろう!? また迷宮入りにするつもりか!!
たしか……ご両親は亡くされてるのよね?
弟さんどうするのかしら…

兄貴
ただいま
兄貴と同じ捜査官としてクロスベルに戻ってきたよ…
一人前には程遠いし何か変な部署に配属されちゃったけど…
まあ なんとかがんばるから
せいぜい見守っててくれよな
カサ…

零の軌跡

LLOYD BANNINGS


ぎゃあああああ……
バギッ
ゴッ

パカッ…
ああ～～――
第5世代
戦術オーブメント
「ENIGMA」――
ようやく
実装開始ですか
ああ
財団から
先日届いた
ばかりだ
あとは
警察手帳だ
身分証明にも
なるからな
なくすなよ？
それと
……これだ
カサ…

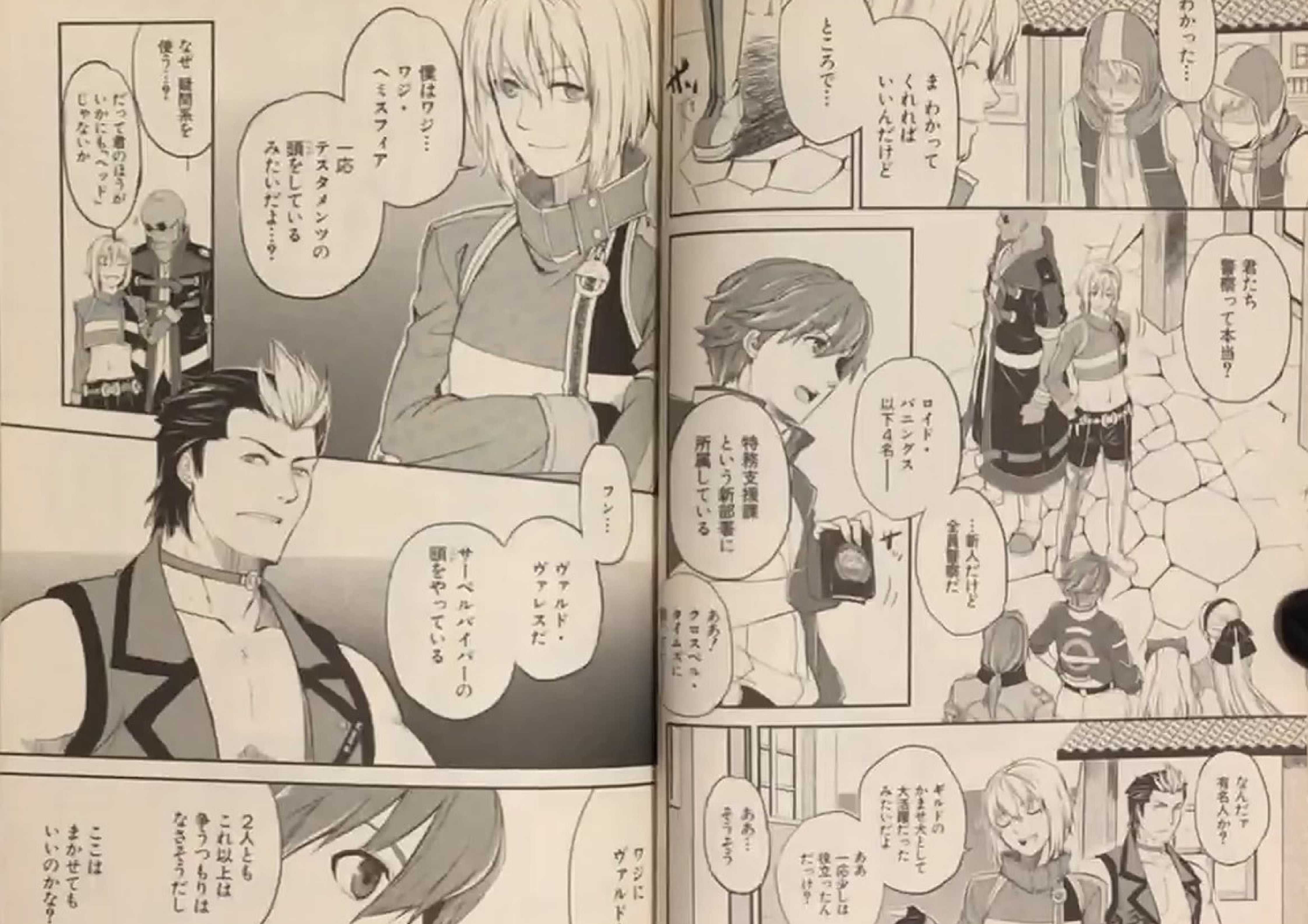
クロスベル・タイムズ…？
昨日のおまえたちのことが記事になっている
ククッ大活躍だったようだな？
な…!!
こ…こりゃまた…
まあ…
散々な書かれようですね…
それじゃ早速だが仕事の話を…
ああ俺だ…
……
……
エニグマにはそんな機能もついているのか…
早速だが緊急任務を与える
旧市街で不良集団が喧嘩をはじめようとしているらしい
後腐れがないように止めてこい
以上だ
旧市街

バン—!
ニヤ ニヤ
ドーン!
サーベルバイパーとテスタメンツ…
おーおー一触即発って感じだな
旧市街で徒党を組んでいる不良チームのようです
おうおう青坊主ども……!
あんまり調子こいてるとマジでブチ殺すぞ!?
ヒャハッ ネタはあがってるんだよ!!
フン…これだから低能な連中は…
俺たちごときチンピラに卑怯な真似をするまでもない
ぷちーーん
上等だよこの青坊主ども!!!
ザッ
ヴァルドさんが出るまでもねえ!!
バイパーどもを殲滅する
こちらこそワジの手を煩わせるまでもない…
総員聖戦の準備……
待った!

つ・・・
クロスベル警察 特務支援課の者だ！
サッ
付近住民の要請により 君たちの喧嘩を止めに来た！
けっ…警察!?
バカな…警察はとんと寄りつきもしないくせに……っ！
つくならもっとまともな嘘をつきたまえ
…信用されていないのですね
と とにかく!! ほかの住民が迷惑してるん
ハッ！上等だ!!
この旧市街で俺たちにそんな口が利けると
はっ！
ヒュッ
待ってくれ!! 俺たちは喧嘩しに来たんじゃない!!
旧市街には旧市街のルールがある
口出しするなら痛い目に遭ってもらおうか——
……聞いてくれそうにはないみたいですね
仕方ない なるべく穏便にいこう
ザッ
行くぞ おらぁぁぁ!!!
こっち
行くぞ

ドカッ
はっ!!
ドガッ
ギュウンっ!!
ザッ
ドゴッ
ドンッ
うおりゃっ
ザッ
ドガッ
バタンッ
ドン!
こうなったら全員でブチのめして——
その辺にしときなよ
ザザッ

ザッ
クク…
楽しそうなことしてるじゃねえか
ザッ
ワジ…
ヴァヴァルドさん!
青坊主どもにお仕置きしようとしたらこの連中がですね…
ガッ
が…
走るなって
っただろうが?
俺様の顔を潰すつもりかよ……!
め…めっそうもない……
ギギ…
君たちもいったいどういうつもりかな?
言い訳はいい…
俺たちはワジの手足
こ…こいつらが絡んでくるからつい…
余計な気を回す必要はない


わかった…
まあ わかって くれれば いいんだけど
ところで…
ポリ
君たち 警察って本当？
ロイド・バニングス 以下4名――
特務支援課 という新部署に 所属している
スッ
…新人だけど 全員警察だ
ああ！ クロスベル・タイムズに
なんだ？ 有名人か？
ギルドの かませ犬として 大活躍だった みたいだよ
ああ 一応少しは 役立ったん だっけ？
ああ… そうそう
僕はワジ… ワジ・ヘミスフィア 一応 テスタメンツの 頭をしている みたいだよ…？
なぜ 疑問系を 使う…？
だって君のほうが いかにも「ヘッド」 じゃないか
フン…
ヴァルド・ヴァレスだ サーベルバイパーの 頭をやっている
ワジに ヴァルド
2人とも これ以上は 争うつもりは なさそうだし
ここは まかせても いいのかな？

クク…
フフ…
あーっはっはっはっ
争うつもりはないッ?
な…何がおかしい!!
何 寝ぼけたこと言ってんだ!
この場で手を引くのは準備ができていないから——
準備ができしだい徹底的にやり合うつもりだよ
ドン…
どっちが生き残るかお互い潰し合うつもりでなあ!
それも今までみたいな小競り合いじゃねえ…!
おいおい殺し合いでもするつもりかよ!?
クク そうなっても不思議じゃねえだろうなア!!
ま どっちが血ヘド吐くかはわかりきってるけどよォ…!?
クク…
フフ… 言ってなよ
まあ どっちにしてもお呼びじゃないってことさ
腰抜けの警察の犬——
ましてや君たちみたいな若造はね
ギロッ
……
行くぞてめえら!!
ザッ
ありゃ本気だな
ふふ…こちらも引き上げるよ
ザッ
ザッ…

どうするリーダー
あの数がぶつかり合ったら俺たちの手に負えないだろうぜ
よくしろと って聞く 中じゃ さそうだし
本部に巡回の強化お願いしてみる？
いや…
あれだけ騒ぎを起こしているのに彼らは警察を気にもしていなかった
それに…
たぶん旧市街は意図的に放置されているんじゃないかと思う
……
データベースによると旧市街の巡回は大幅に減らされているようです
経費削減という名目だそうですが…
ってことは別の方法しかないのか
いっそのこと俺たちが喧嘩売って言うこと聞かせちまうか？
あのな…
待てよ…っ
どうして彼らは潰し合おうとしているんだ…？
!?
縄張り争いだの意地の張り合いってヤツだろ？
いや……それなら本気の潰し合いにはならない
利害が絡んでいるならともかく街の不良同士のいざこざだ
どうして念入りに準備してまで徹底的に潰し合う必要がある？
当事者しか知らない争うだけの理由がある…
ということかしら？
ああそう思う

4 旧市街の不良たち

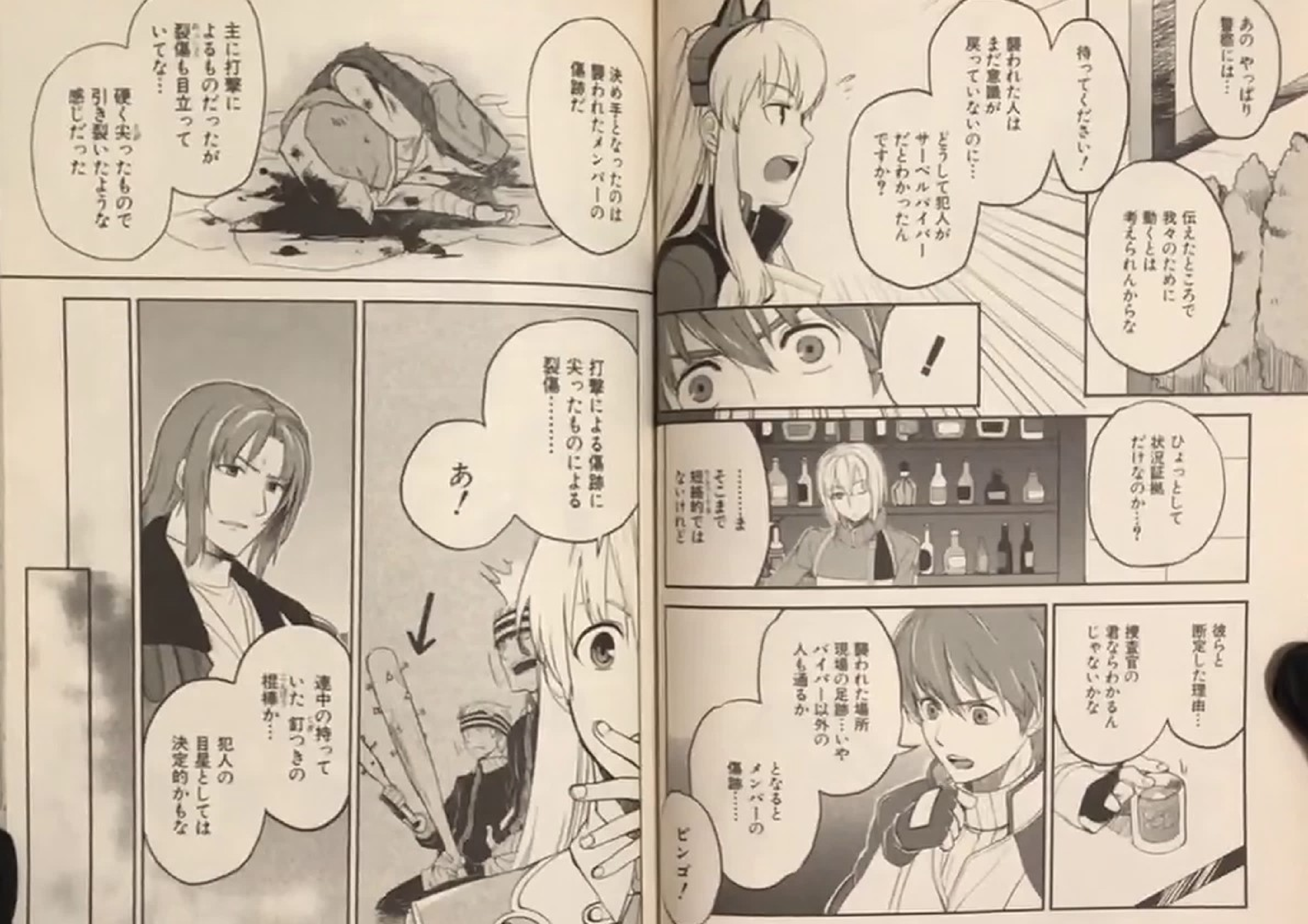
ギィイイ…
へえ… プールバーってやつか…
トコ…
!
警察の犬…
キィ…
待て…!!
さ 先ほどの借りも返させてもらうー
ザッ…
待て!
なんの用だ
返答次第ではただでは帰さん!!
ここは聖域ー
トコ…
余計な音をたてるな

ワジ
どうする？
んー……
カラン…
いいんじゃない？
くるっ
ここに通しちゃって
わかった…
ザザッ
ど…どうも…
なんなんだ
このノリは…
まるで宗教
みたいね…
ぞろ
ぞろ
なんの用？
警察の犬は
お呼びじゃないって
言ったはずだけど？
カラン…
そちらに用が
なくても
こちらには
あってね
少しばかり
捜査に協力して
ほしいんだ
君たちが本気で
潰し合おうと
している理由…
それを聞かせて
もらいに来た
！
へぇ…

その様子だと本当に何かあるみたいだな――
ガタッ
あのさ…
それを聞いてどうするの？
遊撃士ならまだしも警察が何かしてくれるわけ？
旧市街に住む厄介者の悪ガキどもにさ？
……

警察の対応が不十分なのは認めるよ
それに理由を知ったからと言って協力できるとは限らない
ぐっ…
捜査官の仕事は闇に埋もれた真実を明らかにして光をもたらすこと…
少なくとも俺はそんなふうに教えられた
遊撃士のように依頼人を守ることはできないけれど
君たちが抱えている疑念という闇があるのなら――
それを晴らす手伝いはできると思う

プッ…
ククッ…
ド
あははははははっ
……ウケを取るために言ったんじゃないんだけどな
くくっ…ははっ ロイドって言ったっけ？ いやー気に入っちゃったよ
そんなクサイ台詞聞かされておひねりを出さないほどケチじゃない
アッバス！
……わかった…
5日前のことだ…
うちのメンバーの1人が近くの路地裏でバイパーどもの闇討ちにあった
闇討ち…！
その…喧嘩とかではなくて？
フン 喧嘩なものか…
後頭部に一撃くらって倒れたところをメッタ打ちだぞ？
やられたメンバーは病院に運ばれた
手当ては済んだが意識が戻らないらしい


あの やっぱり 警察には…
伝えたところで 我々のために 動くとは 考えられんからな
待ってください！
襲われた人は まだ意識が 戻っていないのに…
どうして犯人が サーベルバイパー だとわかったん ですか？
！
ひょっとして 状況証拠 だけなのか…？
……ま そこまで 短絡的では ないけれど
彼らと 断定した理由… 捜査官の 君ならわかるん じゃないかな
襲われた場所 現場の足跡…いや バイパー以外の 人も通るか
となると メンバーの 傷跡……
ビンゴ！
決め手となったのは 襲われたメンバーの 傷跡だ
主に打撃に よるものだったが 裂傷も目立って いてな…
硬く尖ったもので 引き裂いたような 感じだった
打撃による傷跡に 尖ったものによる 裂傷………
あ！
連中の持って いた 釘つきの 棍棒か…
犯人の 目星としては 決定的かもな

サーベルバイパーにも聞くってどういうことだよ？
テスタメンツの事情聴取でだいたいわかっただろっ
ザッ
ザッ
ザッ
ザッ
ザッ…
真実は見る者によって様々な姿形に捉えられる…
だからいくつもの証言を照らし合わせてみないと本当の真実は見極められない
これも捜査官の仕事だよ
ザッ
なるほどねえ…
ザッ…
着いた…
ここが…
おっおまえらっ！
こっここから先は通さないぞ!!
帰れったら帰れ!!
あ…その……
君たちのヘッドに話があるんだけど…
フフン！ヴァルドさんが警察の犬と話なんてするもんか！
帰れったら帰れよな!!
まいったな…
不良にしてずいぶんかわいらしい小僧だな…

エリィ!
あなた名前は?
ずずず…
ディ…ディーノだけど……
ドーン
し新人だけどおれだってサーベルバイパーの一員だ!
テスタメンツの連中が入らないようにここで見張ってるんだ!
そう……
でも私たちはテスタメンツの一員ではないわ
だったら案内してくれてもいいんじゃないかしら?
で…でも…
おろおろ…
うーんそこまで信用してもらえないなら……
スッ
サッ
!!
ズッ
私の銃をあなたに預けるわ
大切なものだからちゃんと返してほしいけど
ぎぎぎ…
!!!
わわかったよ!! ヴァルドさんに聞いてくる!!
絶対入ってくるなよな!
バタン
ぽかーーん
ニコニコ

数分後――
くいっ
ヴァルドさんがお呼びだ
さっさと入れよな
失礼させてもらうよ
ぞろぞろ…
あっディーノくん
ありがとう
にこっ…
さ…さっさと行けよ!!
変なことしたらタダじゃおかないからな!
はいはい
カ――っ
ジャーン
ズンズンズン…
ジャーンジャジャジャーン
耳障りですわね…
きゃっ
クク待ってたぜ

どうやら
青坊主のほうから
ひととおり話は
聞いてたみてぇだな
ああ…
だからここに
やってきた
本気で潰し合う
理由……
君たちのほうからも
聞かせてほしい
………………
なあ
警察の小僧
おまえらの
知りたい情報を
俺たちが
持ってるとして
それを引き渡す
代わりに
おまえらは何を
くれるんだ?
どうやら
あんたには
真実じゃ不足
みたいだな?
クク
あたり前だ…
俺はな
とにかく
暴れられりゃ
いいんだよ
ザッ
ザッ…
この血のたぎりを
スカッとさせて
くれるんなら
なんだって
かまわねぇ!!

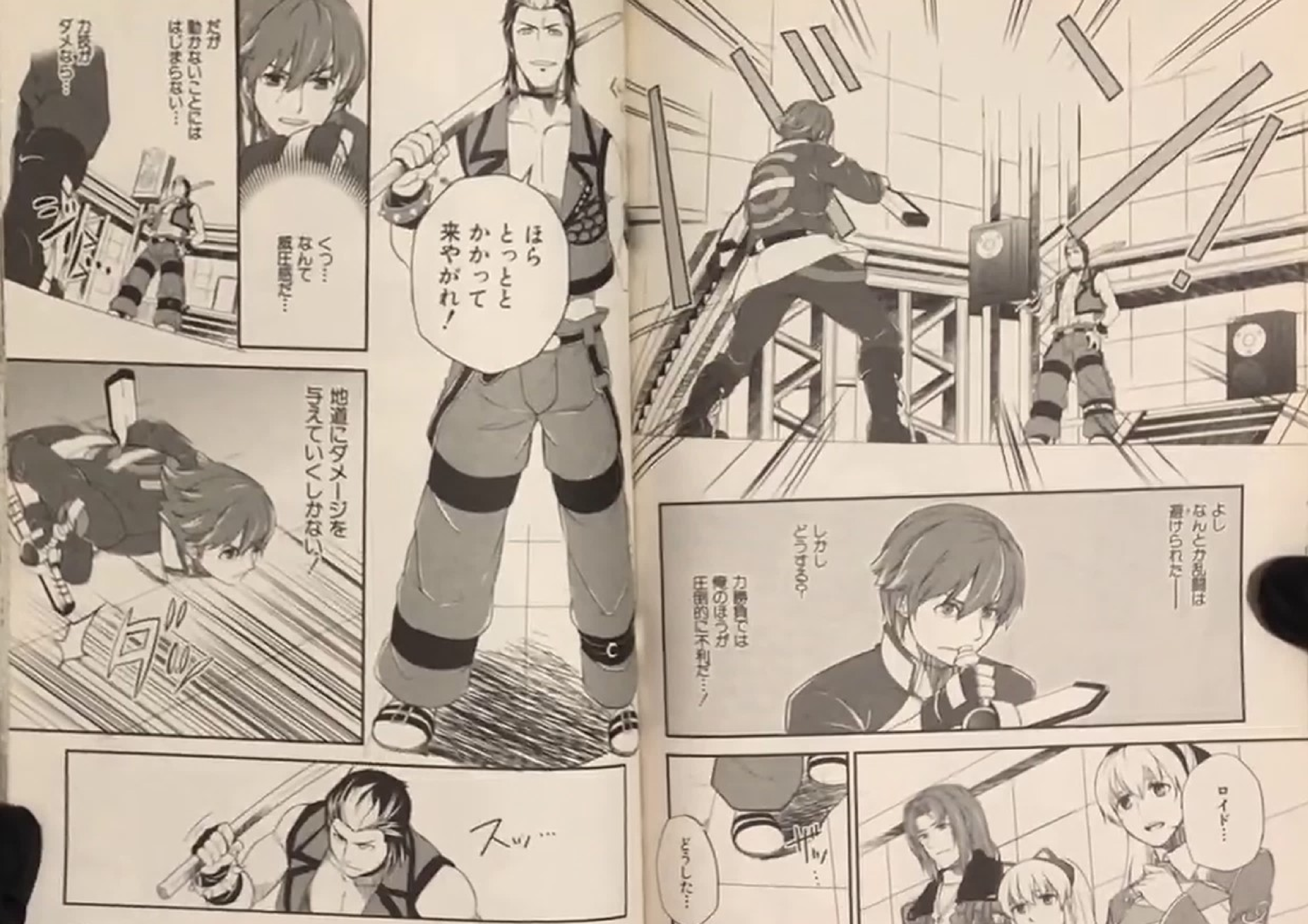
零の軌跡

5 鬼砕き

零の軌跡

ELIE MACDOWELL

喧嘩がイヤなら そこの女どもを しばらく預けて もらおうか
2時間くらい どこかに行って くれりゃ なんでも話して やるよ
えっ!!?
さ…さすがに それは マズイんじゃ…
こ… こいつら…
……
俺からも 提案がある
1対1の タイマン… あくまで練習試合の 名目だ
俺が凌いだら あんたが知っている ことを洗いざらい 喋ってもらおう
そんな趣向は どうだ?
ちょ ちょっと…
これでも
それなりの訓練は 受けている
街のチンピラ 風情に後れを 取るつもりは ないさ…
ピキッ
ハハッ 上等だよ!!!
この ヴァルド・ヴァレスの
凌げるもんなら 凌いでみやがれ!


よし
なんとか乱闘は避けられた――
しかし
どうする…?
力勝負では俺のほうが圧倒的に不利だ…!
ロイド…
ザッ…
どうした…
ほら
とっとと
かかって
来やがれ!
くっ…
なんて
威圧感だ…
だが
動かないことには
はじまらない…
力技が
ダメなら…
地道にダメージを
与えていくしかない…!
スッ…

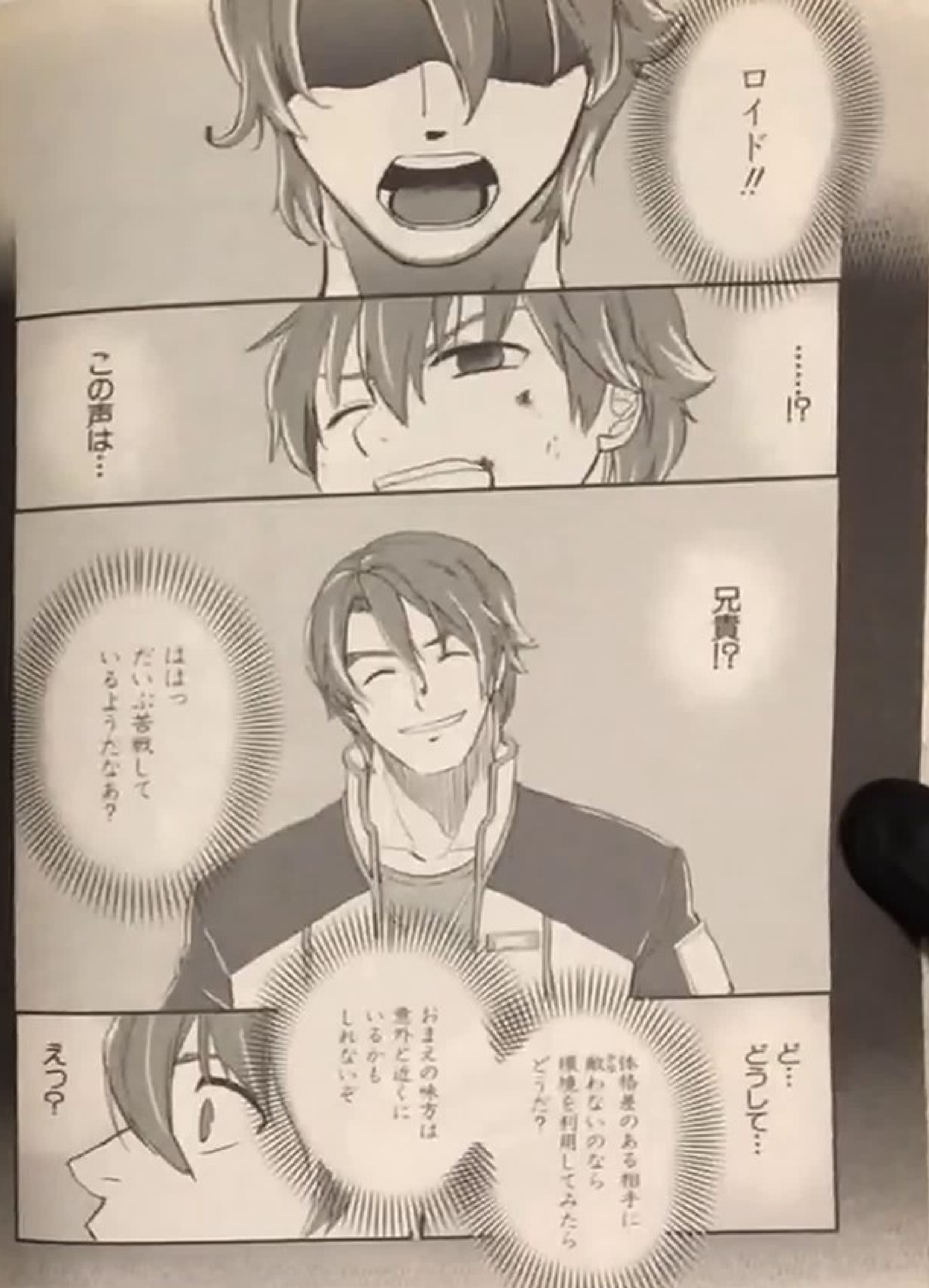
早い!
くるっ

くるっ
やるじゃねえか!
適切に距離をとりながら懐まで飛び込んで攻撃する…
あの巨体には有効な戦い方かもしれませんね
ククク…

ズポッ
ゴキッ
多少はやるようだが軽いな…
ダメだ!!
ほとんど効いていない!
どうした
まさかこのまま殺られるつもりじゃねえだろうな!?
もっと楽しませてくれるんじゃねえのかよ!?
ハハハハハッ!
鬼ごっこじゃ鬼は倒せねえぞ!
オラオラオラオラ!
つっ…
!
もらった!!!

ガッ
グオオオオオ
クク…
掴まえたぜ……!!

しまっ…た!
ぐぐっ…
く…苦しい…
ガッ
ギュウウウ
オラオラ!
どうした!?
ダラン…
ロイド!
!
ロイド!
ロイド!
ギリ ギリ


ロイド!!
……!?
この声は…
兄貴!?
ははっ だいぶ苦戦しているようだなぁ?
ど…どうして…
体格差のある相手に敵わないのなら環境を利用してみたらどうだ?
おまえの味方は意外と近くにいるかもしれないぞ
えっ?

それって どういう——
死にやがれっ!!!
がはっ!
お…おい!
ズズズ…
ザワ ザワ…
ちょっと やりすぎじゃ ないか……?

ロイド！
もうやめましょうこんなの！
今ティアの薬を…
ダメだ!!
これは勝負なんだ…そんなもの使ったらフェアじゃなくなる
お…俺なら大丈夫だから…
…とは言ったものの体力はほとんど残っていないあと一撃が限界だろう
何かでひきつけてこっちに来るように仕向けるか……
――ひきつける…？
ん……？
そうか！
イチカバチカ…
パカッ
ザッ
エ…
エニグマ駆動――

ハッ！
ダッ
導力魔法か！
そんなもん
効きやしねえよ!!
ストーン
スパイク!!
ドドドドドドド
ズズズ…
なっ…!!?
ちっ！
ゲホッ
ゲホッ
今だ!!
ジリッ
ツ…
ダッ
獲物を狩る
虎のように――
タッ
ダッ
タイカ――…

チャアアアジッ!!!!

零の軌跡

零の軌跡

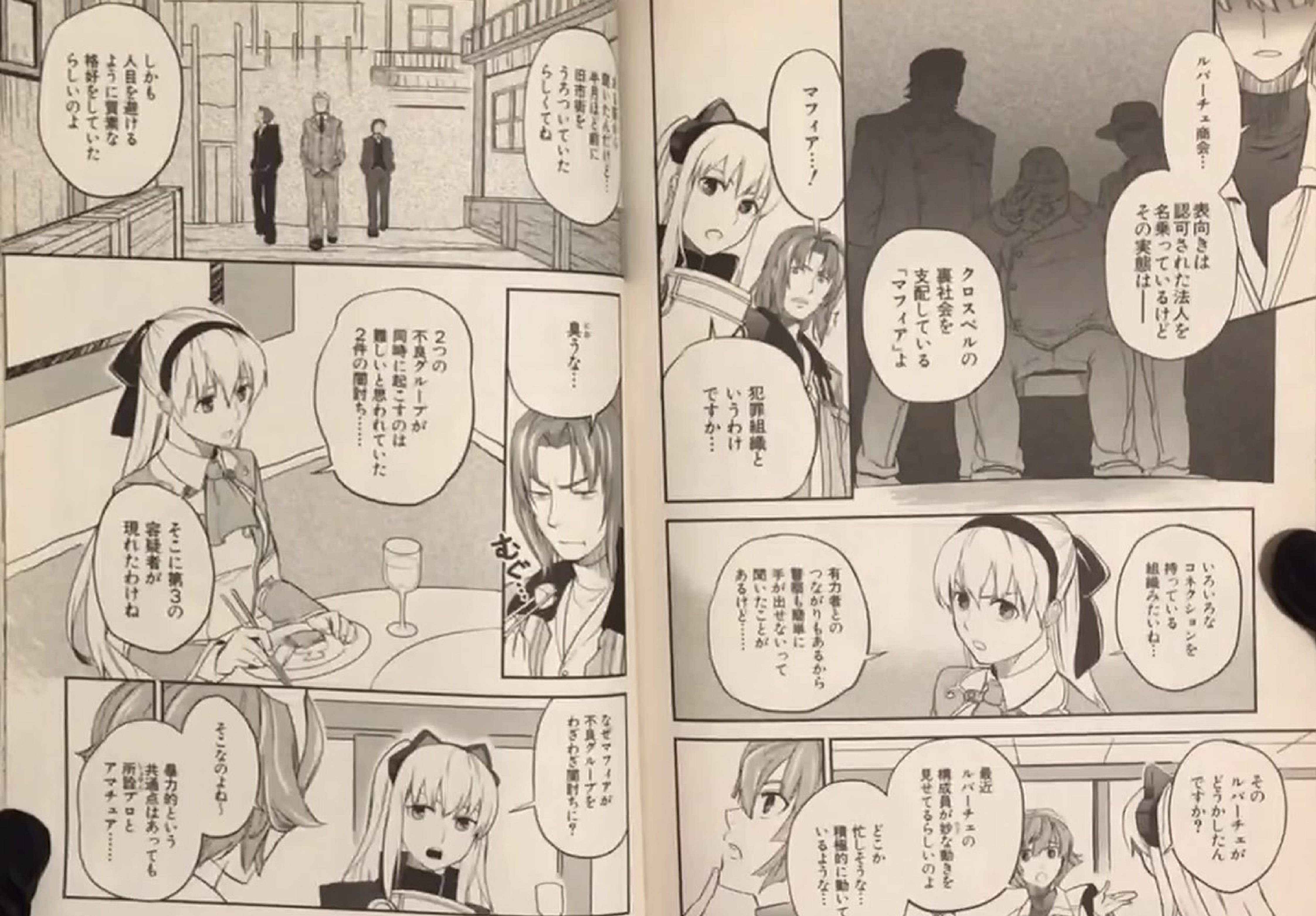
RANDY ORLANDO

――5日前の夜のことだ
ウチのメンバーの1人が青坊主どもの闇討ちにあった
ここを出てすぐの場所だ
なっ…
フン…
やつらも似たようなことを言ってたんだろうが
こちらに言わせりゃとんだ言いがかりってもんだ
それで容態は…
打撲による骨折で全治1ヵ月の入院だとよ
青坊主のところみたいに意識不明ってわけじゃねえが…
ケガだけってことならむしろ軽いくらいだぜ
しかし…
テスタメンツの連中なのはたしかなのか?
意識が戻ってるのなら目撃証言はあるんだろうが…
まさか……見ていないのか?
…まあな
だが青坊主どもがやったのは間違いねえ
遠くのほうからいきなり石が飛んできたらしいからな
石……!
テスタメンツが使っていたスリングショットですね
ああそれだ

それを喰らって倒れたところをタコ殴りにされて気を失ったらしい
もう犯人は言うまでもないだろうが？
………
ククク…話は終わりだ
なあ警察の小僧…俺は細かい事情はどうでもいいんだヤツとケリがつけられるならな
これ以上邪魔するってんなら
青坊主ともどもまとめてたたき潰してやるぜ……？
………
5日前の夜……違う場所で同時に襲われている
プロの犯行でもない限り考えられないな
どちらかが先にやられてその報復のため動いたというのは？
それもおかしいわ
偶然だとしても集団で動いていて気づかないものなのか？
当然先に闇討ちしたほうは相手の報復を警戒するはず…
なのにどちらのメンバーもあっけなく不意を突かれている……
ちっちっ…
この事件何かがおかしい…
う～ん…
フフンお困りのようね？

ハロー♥
あ
あなたは…!
だしか
クロスベル
タイムズの…
グレイス・
リンよ
ヨロシク
……なんの
用ですか?
いや なんだか
おもしろいネタに
絡んでるみたい
だったからさ~
また
あんな記事を書いて
笑い者にする
つもりですか?
あははっ
おかげであの記事
けっこう評判
みたいでね~
ちょっと
お姉さんの取材に
協力して
くれないかしら?
たじ
たじ
そ…捜査中の
情報を部外者に
簡単にもらせる
わけないでしょう
もう
つれないなぁ
せっかく美味しい
東方料理を
ご馳走して
あげるのにぃ
デザートとして
「欠けたパズルの
ピース」
もね……
!

…なかなか美味です…
かなり腕の立つコックがいるみたいね
なあ ちょっとくらい飲んでもいいだろ〜?
ダメ!
それより グレイスさん…
旧市街での事件についてはさっき話したとおりです
「欠けたパズルのピース」…… そろそろ話してくれませんか?
ふふん…
もし イヤだって言ったら?
ぞろぞろ
さて 捜査に戻ろうか
あぁん 冗談だってば〜!
つき合っている暇はないんですけど
まず 前提として…
「ルバーチェ」って知ってる?
え…
知ってるのか?
ああ…… クロスベルに住んでいたらいやでも耳にする名前だからな
たしか クロスベル市で認可された法人にそんな名前があったような……
ふふん…


ルバーチェ商会…
表向きは認可された法人を名乗っているけどその実態は――
クロスベルの裏社会を支配している「マフィア」よ
マフィア…!
犯罪組織というわけですか…
いろいろなコネクションを持っている組織みたいね…
有力者とのつながりもあるから警察も簡単に手が出せないって聞いたことがあるけど……
そのルバーチェがどうかしたんですか?
最近ルバーチェの構成員が妙な動きを見せてるらしいのよ
どこか忙しそうな… 積極的に動いているような…
聞いたんだけど…半月ほど前に旧市街をうろついていたらしくてね
しかも人目を避けるように質素な格好をしていたらしいのよ
臭うな…
2つの不良グループが同時に起こすのは難しいと思われていた2件の闇討ち……
むぐ…
そこに第3の容疑者が現れたわけね
なぜマフィアが不良グループをわざわざ闇討ちに!?
そこなのよね~
暴力的という共通点はあっても所詮プロとアマチュア……

イザヨザは今まで聞いたことがないし
利害が絡むわけでもないから接点がないのよね
どちらかがマフィアと組んで相手を潰そうとしていたとか?
そうなると自分とこの闇討ちは偽装ってことになるだろうが…
あの2人にそこまでの陰険さはなかったな
どちらかというとなんとなくお互いを認め合ってるような——
そうなのよ! ヴァルド君とワジ君はいい喧嘩相手って感じなのよね
もともとあの旧市街にいたのはヴァルド君のサーベルバイパーだけだったんだけど——
2年ぐらい前にワジ君が現れてテスタメンツを結成したのよ
当然ヴァルド君たちに絡まれたわけなんだけど……
目にもとまらぬパンチとキックでたたきのめしちゃったらしいの!
ああ見えて格闘術をやってるみたいよ
まあ…
うーん あのヴァルドも相当なものだったけど…
まあ最初は油断しただけで実際はほぼ互角みたいだけど
今はお互い認め合っているみたいよ?
なるほど… ライバル関係というわけですね
ふふっ そういうこと

となるとマフィアと手を組む線はナシか
2人とも人望は厚そうだから手下の暴走というわけでもなさそうだし…
ふふっ…
スッ…
ちょっとサービスしすぎちゃったかな？
えっ…
ほかの取材があるからこれで失礼させてもらうわ
ひらひら
せいぜいがんばっていい記事を書かせてちょうだいね♪

ふう…
かなり情報が揃ってきたわね
データベースでも見た覚えはありません……
セキュリティの高い場所に隠されてるみたいですね
どうしてマフィアが旧市街に介入してるのか…
今の段階では判断できる情報が少なすぎるな
機密情報ってやつか……
…一度戻って課長の判断を仰ごう
これ以上は自力で解決するのは難しそうだ
特務支援課
SSS

あの課長……？
………
…そうだな
この件に関してはおまえたちにすべてまかせた
ルバーチェのことも教えることはない
な……
そんな無茶な…
俺がやめろと言って納得できるのか？
ヤツの件に関してはそれだけ面倒くせぇ問題なんだ
俺が上司としてマトモな判断をするならやめろとしか言いようがない
ギロ
それでいいのかよ？
——まあそうだな
何も知らない小僧どもが足を滑らせて大ケガでもしたら寝覚めが悪ィしな…
ガタッ
せめて助言者を紹介してやろう
いえ……
ゴソ…

ズッ！
グリムウッド法律事務所……？
西通りにある法律事務所だ イアンっていう名前の弁護士先生がいる
前に俺が会ったときに特務支援課のことは話している
身分を明かせば話ぐらいは聞いてくれるはずだ
西通り
あの先生ならマフィアについてかなりの情報を持っているはずだ
ひょっとしたら警察も知らない最新情報なのかもな
トッ トッ…
なんだ ロイドの知り合いだったのかよ？
前いたとき何度か挨拶くらいはしてる程度だけどね
企業や貿易商から一般市民まで幅広く法律相談をしている先生と聞いているわ
何か有用な情報が得られればいいけれど……
トッ トッ…
あ…
着きましたね
GLIMMWOOD LAW OFFICE
GLIMMWOOD LAW OFFICE

零の軌跡

零の軌跡

7 反撃

TIO PLATO

ひょっとして…
ガイ君の弟さんか？
そうか…
君たちがセルゲイ君の言ってた特務支援課の新人だったのか
しかしあのガイ君の弟さんが警察に……
ガイ君もこうやってたまに情報交換に来てくれたんだ
もっとも彼は非常に優秀な捜査官だったからね
私のほうがいろいろと助けてもらったくらいだよ
ちょ…
ロイド！あなた捜査官のお兄さんがいるの？
初耳だな水くせぇぞ
ゴメン言いそびれててさ
でももう亡くなった人だから
え…
殉職したんだ
ちょうど3年前になるかな…
それよりさっきの話ですが…
何かご存知であれば聞かせていただけませんか？
ルバーチェか…
彼らにまつわる黒いウワサは多い
帝国と共和国にまたがる密貿易盗品売買にミラロンダリング……
猟兵団の斡旋や武器の密売…
どれもクロスベルの特殊性を利用したものと言えるだろう

近年ますます盛んになっている貿易業と金融業の発展と…
それに反して脆弱きわまる政治基盤ですね？
そう…
このクロスベル自治州の政治基盤はきわめて弱い
多くの政治家は帝国派か共和国派のどちらかに属しており利権をむさぼる者が多い
そしてマフィアの暗躍を取り締まる法案が出されたとしても彼らと癒着した議員に潰される
なんだそりゃ…
ルバーチェとつながっている議員はそうとう多いと言われているわ
警察が動けないのもそれが最大の理由でしょうね

それでは ルバーチェが行う犯罪は野放しなんですか？
いや あからさまな犯罪を放置すれば市民や周辺諸国も騒ぐだろうし…
市民に直接迷惑はかけない一線だけは守っているようだ
逆にその一線を越えなければ何をやっても警察は動かない…
……
そう高を括っているところもあるみたいだがね
しかし ここ最近少し風向きが変わってきていてね
どうやらルバーチェの対抗勢力が現れたらしいんだ
対抗勢力？

カルバード共和国の東方人街に一大勢力を構えている組織…
その組織がこのクロスベルに進出しはじめているらしいんだ
名は『黒月』
黒月……マフィア同士の抗争か
不良同士のケンカどころの騒ぎじゃないぜ
幸いにしてまだ表立った抗争ははじまっていないらしいが…
近いうちになんらかの形で暗闘がはじまるかもしれないだろうね
黒月…
——発端は5日前の真夜中
SSS
サーベルバイパーとテスタメンツのメンバーがそれぞれ何者かに襲われた
キュ…
こうして見ると旧市街の反対側同士ですね
ああ同じ夜に起きてもすぐにはわからなかったはずだ
そしてようやく闇討ちがお互いの仕業だと確信して現在に至る……

うーん やっぱり第三者が いたとしか 思えねえぜ
どちらかの メンバー全員が 口裏を合わせない限り どっちの犯行も 不可能だろう
ポリ
ああ…… この段階で2つの犯行を 第三者の仕業だと 仮定してしまっても 構わないと思う
――で
その第三者として 上がってきたのが ルバーチェ商会ね
ああ
半月ほど前に 構成員が旧市街で 目撃されている
この情報の 真偽を確かめている 時間はないけど…
まずはルバーチェが 2件の傷害事件を 起こしたという仮定で 話を進めてみよう
そうなると やはり問題は 動機ですか
うーん 動機ねぇ…
軋轢の からみそうにない マフィアと二組の 不良集団
それら 3つの点を 結ぶ線が あるはず…
まだ確信が あるわけじゃ ないけど…
キュ…
3つの点を 結ぶ線――
うーん…
考えられるとしたら 現実的なのは 黒月だろう
キュッ
黒月
点同士が 線で結ばれるのは なんらかの必然性…
ルバーチェ ←→ 黒月
パイパー ←→ テスタ
となると 黒月がらみで マフィアが二組の 不良集団を襲う 必然性がある わけですが
――そうか!
これなら 説明がつくぞ!

黒月の進出を受けてルバーチェ側がすることといえばなんだ？
そりゃあ単純に考えれば戦力増強だろ
兵隊の増強と武装の強化…
マフィアなら武装の強化は密貿易で確保できるだろう
だが戦闘員のほうはどうだ？
まさか不良どもを兵隊候補に――？
血の気が多く統率されている青年たち……戦力としてはまさに打ってつけだろう
しかしどちらのグループにも目障りな存在がいるとしたら……？
ワジ君は間違ってもマフィアに協力しそうにないし…
ヴァルドさんもお山の大将でいたいタイプ…
とてもマフィアの下で働きそうにはありませんね

なるほど
お互いを潰し合わせて弱体化させた頃合いを見はからって一気に取り込みにかかる…
そういう筋書きかよ！
はは…あくまで可能性の1つさ
またまた～！謙遜するなってーの！
はは…ありがとう
それで…さこの推理…
あの2人にも伝えたほうがいいと思わないか？

なっ……
………
やっぱり…
やっぱり？
僕もあのあと状況を整理してみたんだけどどう考えても不自然だったんでね
パイパー側にしてもそれは同じ…まあ僕の推理はそこで止まっていたんだけど…
まさかマフィアなんかにコケにされてたと
ええっと…納得してもらえたのかな
納得も何も前にルバーチェの連中が僕たちのところに来てたからね
いい目を見させてやるからウチの下で働かないかってね
もちろん鼻で笑って追い返してやったけどさ
ヴァルド君のところにも勧誘があったんじゃないの？
ああ1ヵ月くらい前にな…
あまりに舐めた話だったから脅しつけてたたき出してやったが…
ククッ…
決まりだな…
ここまで舐めた真似をしてくれるとはなァ…
ダッ

マフィアだろうと関係ねえ！
まとめて叩き潰してやらあッ！
お……落ち着いてくれ！
本当バカだなぁ
マフィア相手にケンカして勝ち目があるわけないだろう？
下手に乗り込んだところで蜂の巣にされるのがオチだろうね
君の可愛い舎弟たちまでそれに巻き込むつもりかい？
ぐ………
なら……
ぐっ…
てめえはどうなんだ!?
ここまでコケにされて…
仲間をやられたままでおめおめと引き下がれんのか!?
ザッ
フッ…
そんなワケないだろ
今回の件関わってるのはマフィアでもごく一部のはず――
ならそいつらにのみ落とし前をつけさせればいい
報復もできないくらいきっちりとスジを通したうえでね
ヴァルド
ちょっと協力してもらうよ
それに君たちにも…

あんな推理を見せつけてくれたんだ
責任もって最後まで協力してもらうよ――
……
ち…
今だ!
スッ…
ゴッ
クク…青ウサギを1匹と
パタン
あっさり掛かってくれたな
悪く思うなよ――

現行犯逮捕といきたいところだけど…
微妙に別捜査くさいし今回は勘弁するしかないか
ぐっ…
なっ…
けっ警察……！
フフ…俺はあくまで助っ人さ
ザッ…
！
チッ……
二手に別れるぞ！

ダッ
あっワジ！
こっちも二手に別れよう！
合点だ！
クッ…俺たちの存在を嗅ぎつけられていたとは……
ダダッ
こうなったらいったん戻って応援を――
どこに行くんだァ？
ザザッ

零の軌跡

チッ…
マヌケが
仕方ない
抜け道を
使うぞ……！
ダッ
ククッ…
さてと…
どうする
お兄さんたち？
この場で
投降するなら
大目に見ても
いいけど…
それとも今度は
アンタたちが
狩られてみる？

8 決戦

零の軌跡

CROSSBELL STATE POLICE DEPARTMENT

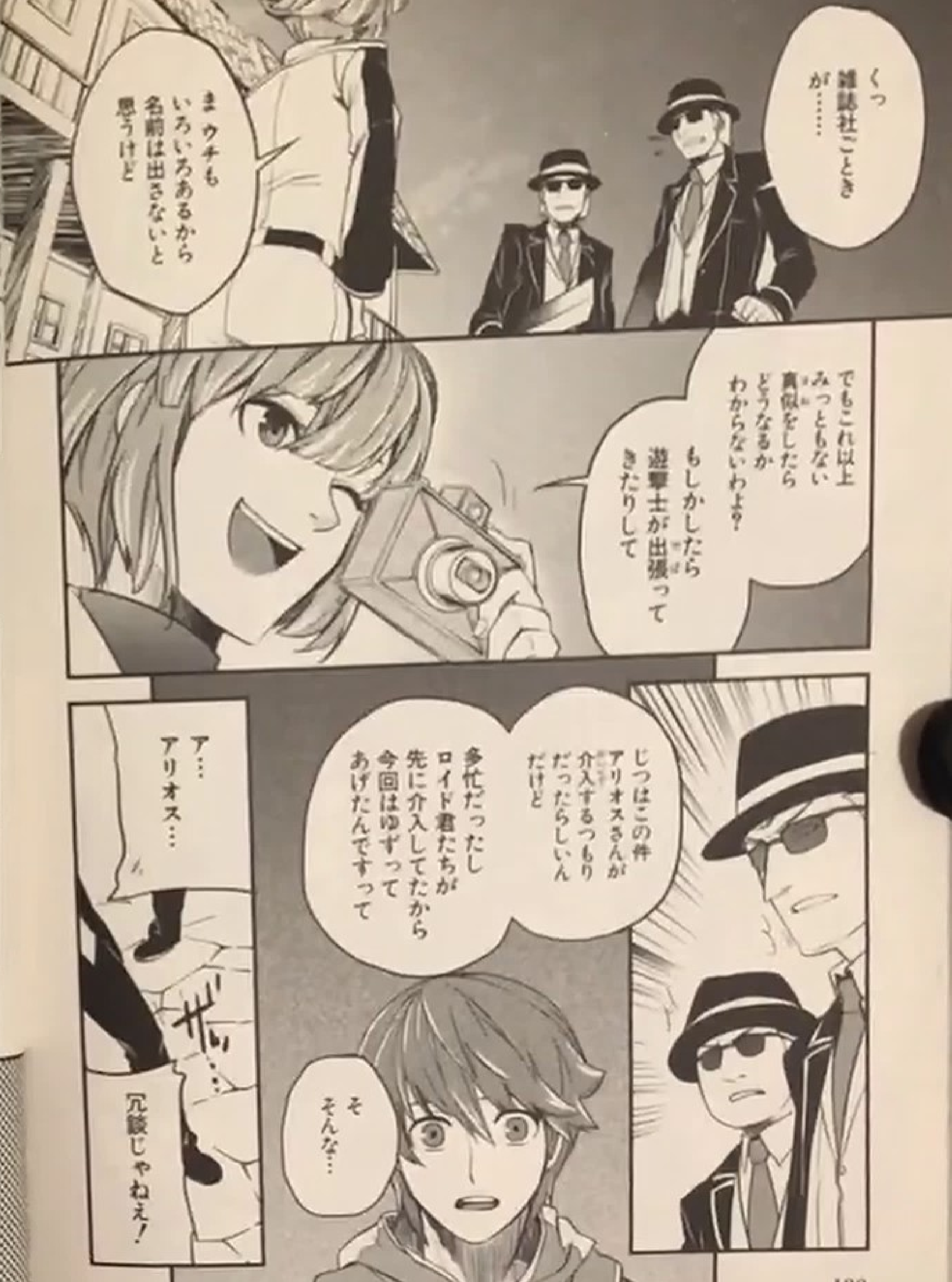
グラッ…
来た…！
ザッ…
チャ…
くそっ…！
ドテッ
早い…！
刺されていたかも…
あれ…？
どこに行ったんだ…？
戦技…！
チッ 外したか…

次の一撃で終わりにしてや……
ん?
ワジ!
下っ端とはいえ相手はプロだ油断は禁物だよ
あ…あのバカ……!
クソが…!
くっ…
これじゃ手も足も出ない!
うわっ!
今だ!死にやがれ……
ぐあっ!
何っ…!?
エリィ!
2人ともそこから離れて!

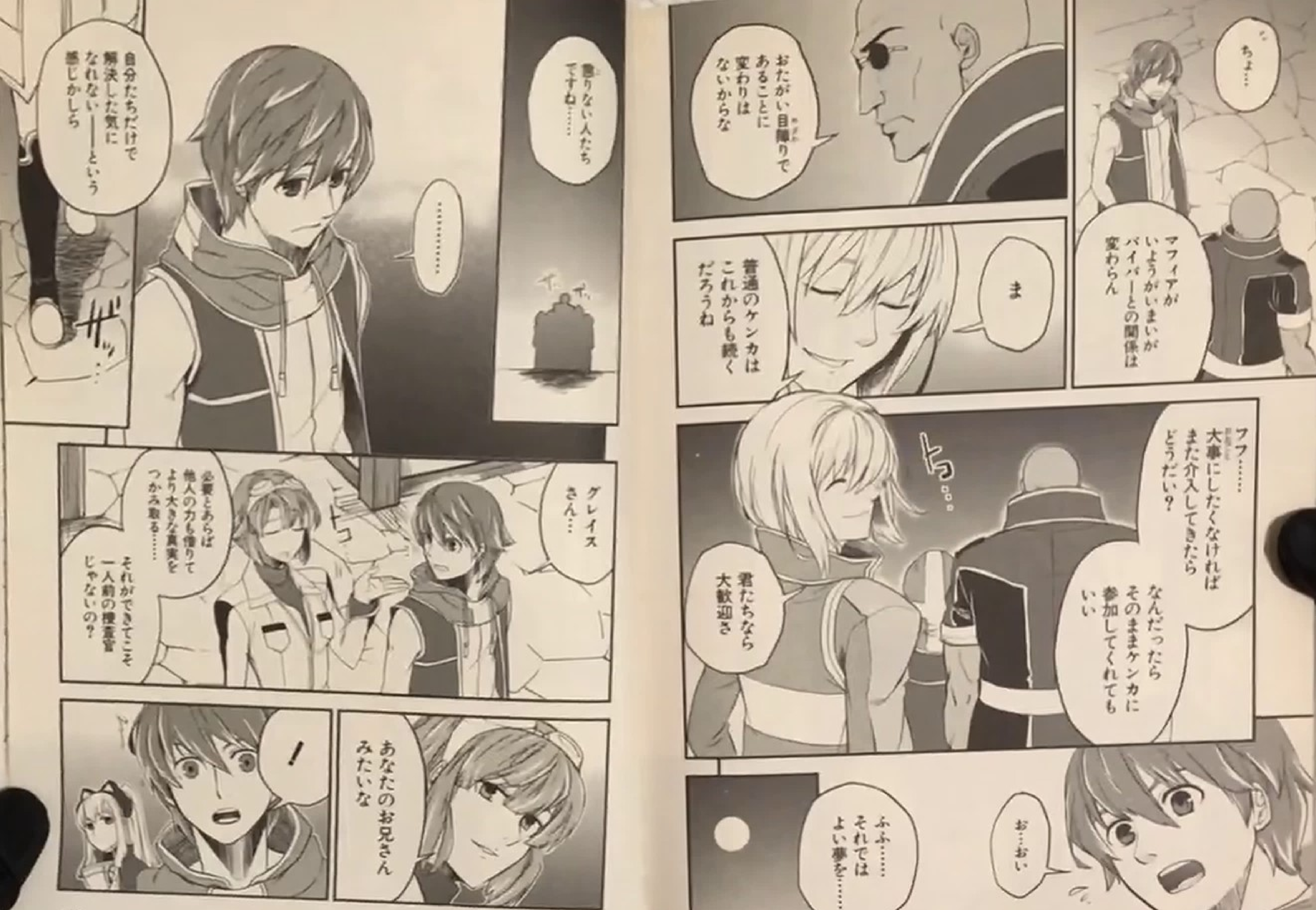
エニグマ駆動……
ピカッ
スパークル！
くそっ！
バチッ
か…身体が痺れて…
今だ！
ダッ
うわっ！
おおおおおおおお

…ちょっと
やりすぎ
ちゃったかな
ま
いいんじゃ
ない？
ともかくこれで
落とし前を
つけることが
できそうだ
よし！
あっちに
合流しよう！
ぐあっ！
ガキどもが…
ま
こんなもん
かねぇ
調子に乗り
やがって……

グォォォォ
ガッ
全員サンドバックみたいに吊るして血ダルマにしてもいいんだぜ……？
どうやらお仕置きが足りなかったみてぇだなァ？
ヴァルド
このお兄さんたちだってプロなんだ
あまりメンツを潰しちゃったらなりふり構わなくなるんじゃない？
ちっちっ…
ワジ…！
……ぐ……
お兄さんたち表沙汰にした
ないだろう
ギリ…
ニコニコ
みっともなくて上には報告できないよねぇ？
ガキども相手にプロがちょっかいかけた挙句返り討ちに遭ったなんて
ふざけろ…
その気になればいくらでも…
いや〜さすがにここが退き時じゃないかしら？
パシャッ
ザッ…
グレイスさん…
うふふん この数日君たちの動きに注目してたの
予想どおりいろいろやらかしてくれるじゃない

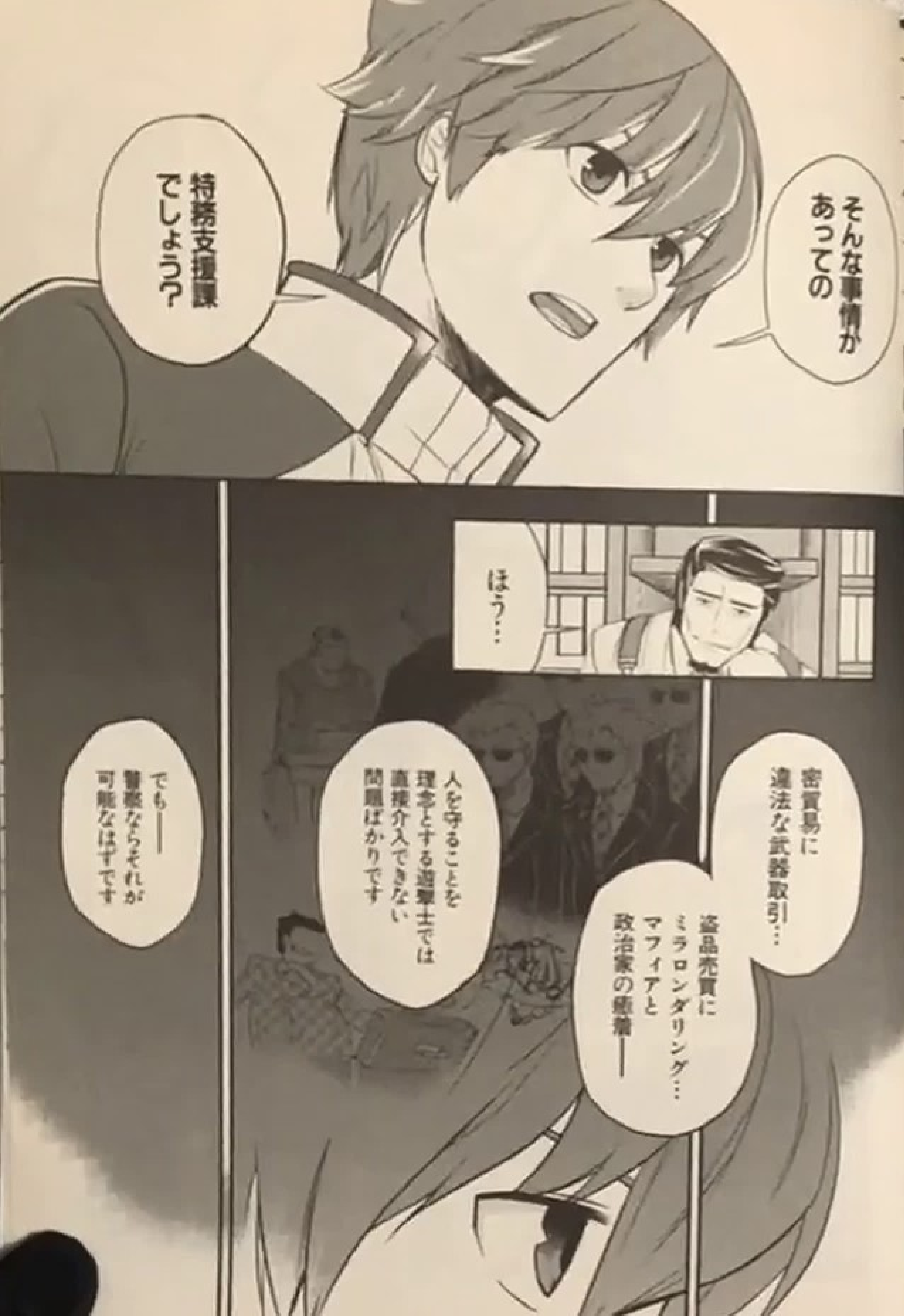

くっ
雑誌社ごときが……
まウチもいろいろあるから名前は出さないと思うけど
でもこれ以上みっともない真似をしたらどうなるかわからないわよ？
もしかしたら遊撃士が出張ってきたりして
じつはこの件アリオスさんが介入するつもりだったらしいんだけど
多忙だったしロイド君たちが先に介入してたから今回はゆずってあげたんですって
そ そんな…
ア…アリオス…
ザリッ
冗談じゃねぇ！

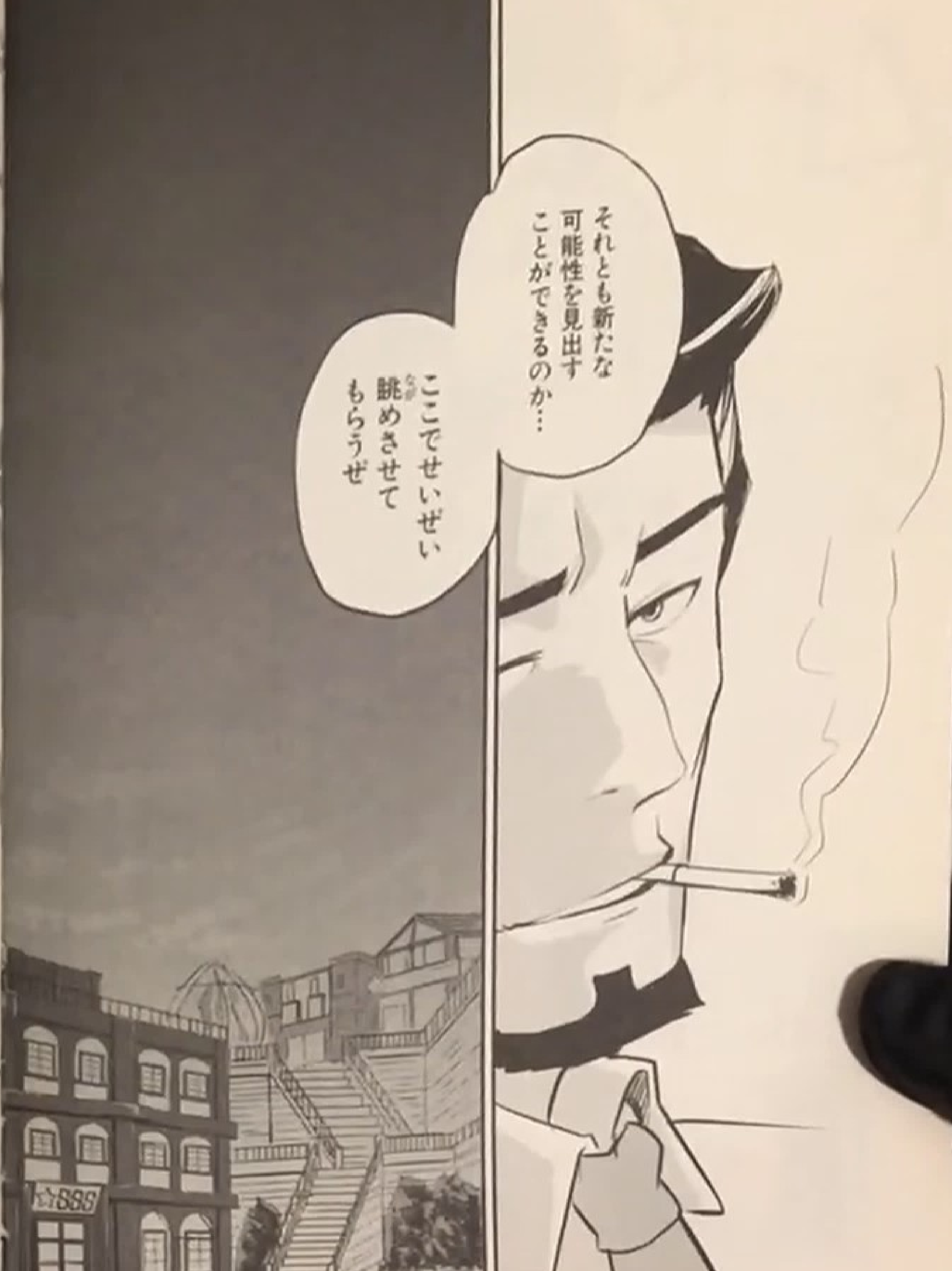
やってられるか！
引き上げるぞ
タッ
バタ バタ
やれやれ…風の剣聖アリオスか
噂は聞いてるけどあそこまで効果覿面とはねぇ
フン…
フフ…君たちもこれで任務完了かな？
あ…ああ
もともとは君たちのケンカを仲裁するのが任務だったけど
今後はもうお互い争わなくて済むだろう？
トコ…
えっ？
何言ってるの？


ちょ…
マフィアがいようがいまいがバイパーとの関係は変わらん
おたがい目障りであることに変わりはないからな
ま
普通のケンカはこれからも続くだろうね
フフ……大事にしたくなければまた介入してきたらどうだい？
なんだったらそのままケンカに参加してくれてもいい
君たちなら大歓迎さ
お…おい
ふふ……それではよい夢を……
懲りない人たちですね……
…………
自分たちだけで解決した気になれない――という感じかしら
ザッ
グレイスさん…
必要とあらば他人の力も借りてより大きな真実をつかみ取る……
それができてこそ一人前の捜査官じゃないの？
あなたのお兄さんみたいな
！

え…
さてと
お姉さんも
撤退しようかな
そろそろ
お肌の年齢が
気になる年頃
なのよね〜
それじゃ
おやすみ
なさ〜い♪
……………
おまえの兄貴
かなり有名人
なんだな
特務支援課
SSS
なるほど…
話は
わかった
課長室
ま
新人にしては
よくやったんじゃ
ねえか？
あ…
ありがとう
ございます…
しかし
今回の一件で
見えてきただろ
このクロスベルの
厄介な側面が
警察本部だって
けっして無能って
わけじゃない
賄賂を受け
取ってるような
バカ野郎もいる
みたいだが…
多くの捜査官は
そこそこ優秀で
自分なりの正義感を
持ってる連中だ
だが…
有形無形の
「壁」がある
マフィアと
議員の
癒着問題とかな

どうだ
ロイド？
警察辞めて
遊撃士にでも
転職したく
なってきたか？
ロイド……
いえ……


そんな事情が
あっての
特務支援課
でしょう？
ほう…
密貿易に
違法な武器取引…
盗品売買に
ミラロンダリング…
マフィアと
政治家の癒着――
人を守ることを
理念とする遊撃士では
直接介入できない
問題ばかりです
でも――
警察ならそれが
可能なはずです

さまざまな壁が立ち塞がっていたとしても
その壁を突破できる可能性はゼロじゃない
このメンバーだったら
どんな壁も力を合わせて
乗り越えていける――
そう
思えるんです
ロ…
ロイド…！
ははっ
なんつーか…
ク…
クサすぎます…
くくっ…
課長？
くっくっくっ
いいんじゃ
ねえか？
課長…？
特務支援課が
設立されたのは
いろいろなしがらみに
よるもんだが
どう使おうが
おまえたちの自由だ
よっと
ま
やりすぎちまっても
お偉いさんに
睨まれないよう
ケムに巻くくらいは
してやるよ
特務支援課が
単なる遊撃士の
パクリで終わるか…
シュ
ボッ

はじめまして、島草あろうと申します。
ファルコムさんのゲームは子供の頃から触れる機会が多く
特に英雄伝説シリーズは毎度新作を楽しみにしている程好きなゲームなので、
そのうちの1作品をこうして漫画で描かせてもらえるのはとても光栄です！
しかし、いざ描いてみると緊張してしまって、描くだけで精一杯だったり
服装間違えたり左右逆だったり……と、いろんな方にご迷惑をおかけしています。
ほんとにすみません。
あと、ゲームやってて思うんですが、漫画で描いてみたいシーンがホントに多いので、ゲームの際
どこを入れてどこを省くかで脳内会議してます。困ります(笑)
1巻はほぼメインシナリオに沿った話になっていますが、今後は支援要請の話とか、ゲーム本編
ではあまり描かれていない演出等を取り入れていけたらなあと……あくまで個人的願望です。
まだまだ書き足りないですが、このへんで！2巻でお会いしましょう！